

Reading II 2	Jeff SHORE	英語 II 3	吉村 俊子	Practical English II 3	田村 康子
英語 I 1	Jeff SHORE	英語 II 4	吉村 俊子	Basic English Gram I	濱田 史子
英語 I 2	Wayne YOKOYAMA	英語 II 5	Jeff SHORE	Basic English Gram II	濱田 史子
英語 I 3	吉村 俊子	英語 II 6	田村 康子	初級英会話 I	佐藤 方美
英語 I 4	吉村 俊子	英語 II 7	Jeff SHORE	初級英会話 II	佐藤 方美
英語 I 5	Jeff SHORE	英語 II 8	Wayne YOKOYAMA	フレッシュユバードン・ゼミ 1	衣川 賢次
英語 I 6	田村 康子	英語 II 9	廣瀬 順子	フレッシュユバードン・ゼミ 2	前中 一晃
英語 I 7	Jeff SHORE	英語 II 10	D.A. Del Raye	フレッシュユバードン・ゼミ 3	師 茂樹
英語 I 8	Wayne YOKOYAMA	英語 II 11	吉江 孝美	フレッシュユバードン・ゼミ 4	有吉淳一郎
英語 I 9	廣瀬 順子	英語 II 12	三木 茂	フレッシュユバードン・ゼミ 5	山中 高光
英語 I 10	D.A. Del Raye	英語 II 13	吉村 俊子	フレッシュユバードン・ゼミ 6	笹山 忠則
英語 I 11	吉江 孝美	英語 II 14	有吉淳一郎	フレッシュユバードン・ゼミ 7	立脇 一美
英語 I 12	三木 茂	英語 II 15	有吉淳一郎	フレッシュユバードン・ゼミ 8	吉田 叡禮
英語 I 13	吉村 俊子	英語 II 16	Wayne YOKOYAMA	フレッシュユバードン・ゼミ 9	千田たくま
英語 I 14	有吉淳一郎	英語 II 17	鷺見 淳之	フレッシュユバードン・ゼミ 10	西岡 秀爾
英語 I 15	有吉淳一郎	英語 II 18	田村 康子	フレッシュユバードン・ゼミ 11	小川 太龍
英語 I 16	Wayne YOKOYAMA	英語 II 19	D.A. Del Raye	フレッシュユバードン・ゼミ 12	松田 敬之
英語 I 17	鷺見 淳之	英語 II 20	D.A. Del Raye	フレッシュユバードン・ゼミ 13	笹部 昌利
英語 I 18	田村 康子	Practical English I 1	D.A. Del Raye	フレッシュユバードン・ゼミ 14	松田 隆行
英語 I 19	D.A. Del Raye	Practical English I 2	Jeff SHORE	フレッシュユバードン・ゼミ 15	中尾 光一
英語 I 20	D.A. Del Raye	Practical English I 3	田村 康子	フレッシュユバードン・ゼミ 16	後藤 真
英語 II 1	Jeff SHORE	Practical English II 1	D.A. Del Raye	フレッシュユバードン・ゼミ 17	青江 智洋
英語 II 2	Wayne YOKOYAMA	Practical English II 2	Jeff SHORE	フレッシュユバードン・ゼミ 18	田中 正流

フレッシユ・パーソン・ゼミ 19	丸山 顯徳	フレッシユ・パーソン・ゼミ 43	師 茂樹	言語学概論Ⅱ	倉橋 農
フレッシユ・パーソン・ゼミ 20	友田 義行	フレッシユ・パーソン・ゼミ 44	有吉淳一郎	坐禅入門Ⅰ	寶積 玄承
フレッシユ・パーソン・ゼミ 21	吉永 純	フレッシユ・パーソン・ゼミ 45	山中 高光	坐禅入門Ⅱ	寶積 玄承
フレッシユ・パーソン・ゼミ 22	小松 一子	フレッシユ・パーソン・ゼミ 46	千田たくま	自然科学概論Ⅰ(科学史)	前中 一晃
フレッシユ・パーソン・ゼミ 23	春名 苗	フレッシユ・パーソン・ゼミ 47	西岡 秀爾	手話講座Ⅰ	松島 謙司
フレッシユ・パーソン・ゼミ 24	福富 昌城	フレッシユ・パーソン・ゼミ 48	小川 太龍	手話講座Ⅱ	島田 浩之
フレッシユ・パーソン・ゼミ 25	安田三江子	フレッシユ・パーソン・ゼミ 49	笹部 昌利	宗教学Ⅰ	松井 吉康
フレッシユ・パーソン・ゼミ 26	山崎イチ子	フレッシユ・パーソン・ゼミ 50	友田 義行	宗教学Ⅱ	松井 吉康
フレッシユ・パーソン・ゼミ 27	渡邊 実	インターンシップ	山中 昌幸	心理学Ⅰ	山崎 校
フレッシユ・パーソン・ゼミ 28	三品 桂子	インド古典Ⅰ―Ⅰ	松本 純子	心理学Ⅱ	山崎 校
フレッシユ・パーソン・ゼミ 29	小海 宏之	インド古典Ⅰ―Ⅱ	松本 純子	人と文化	細川 景一
フレッシユ・パーソン・ゼミ 30	小谷 裕実	インド古典Ⅱ―Ⅰ	谷 貞志	人類学Ⅰ	瀬戸口烈司
フレッシユ・パーソン・ゼミ 31	橋本 和明	インド古典Ⅱ―Ⅱ	谷 貞志	人類学Ⅱ	瀬戸口烈司
フレッシユ・パーソン・ゼミ 32	丹治 光浩	ドイツ語Ⅰ A	片桐 智明	政治学(国際政治を含む)Ⅰ	城戸由紀子
フレッシユ・パーソン・ゼミ 33	藤井 涉	ドイツ語Ⅰ B	熊谷 知実	政治学(国際政治を含む)Ⅱ	城戸由紀子
フレッシユ・パーソン・ゼミ 34	矢持九州王	ドイツ語Ⅱ A	片桐 智明	禅学Ⅰ	安保 省吾
フレッシユ・パーソン・ゼミ 35	植田恵理子	ドイツ語Ⅱ B	熊谷 知実	禅学Ⅱ	安保 省吾
フレッシユ・パーソン・ゼミ 36	岸野 拓男	フランス語Ⅰ A	野村 直正	体育理論	江川 達郎
フレッシユ・パーソン・ゼミ 37	小川 恭子	フランス語Ⅰ B	桂川 久	単位互換科目Ⅰ	認定
フレッシユ・パーソン・ゼミ 38	高橋美知子	フランス語Ⅱ A	野村 直正	単位互換科目Ⅱ	認定
フレッシユ・パーソン・ゼミ 39	奥山 淑子	フランス語Ⅱ B	桂川 久	単位互換科目ⅢⅠ	認定
フレッシユ・パーソン・ゼミ 40	佐々木和子	漢文教室	衣川 賢次	哲学Ⅰ	清水 大介
フレッシユ・パーソン・ゼミ 41	片山 由美	言語学概論Ⅰ	倉橋 農	哲学Ⅱ	清水 大介

点字講座Ⅰ	大藪真知子	禅とこころⅡ	細川 景一	資格英語Ⅴ	有吉淳一郎
点字講座Ⅱ	大藪真知子	フランス文化Ⅰ	林 千宏	資格英語Ⅵ	有吉淳一郎
日本語(一)Ⅰ	香月 成文	フランス文化Ⅱ	林 千宏	時事英語	有吉淳一郎
日本語(一)Ⅱ	衣川 賢次	ドイツ文化Ⅰ	熊谷 知実	短期留学(英語コミュニケーション)	佐藤 方美
日本語(二)Ⅰ	香月 成文	ドイツ文化Ⅱ	片桐 智明	長期留学(英語コミュニケーション)	Jeff SHORE
日本語(二)Ⅱ	衣川 賢次	ヨーロッパの文化ⅠA	林 千宏	比較文化Ⅰ	Jeff SHORE
日本事情Ⅰ-Ⅰ	桐田 清秀	ヨーロッパの文化ⅠB	林 千宏	比較文化Ⅱ	Jeff SHORE
日本事情Ⅰ-Ⅱ	桐田 清秀	ヨーロッパの文化ⅡA	熊谷 知実	Communicative Eng I	Wayne YOKOYAMA
文化人類学Ⅰ	奥西 峻介	ヨーロッパの文化ⅡB	片桐 智明	Communicative Eng II	Wayne YOKOYAMA
文化人類学Ⅱ	奥西 峻介	フランス語会話A	野村 直正	英検準1級コースⅠ	佐藤 方美
文学Ⅰ-Ⅰ	熊谷 知実	フランス語会話B	桂川 久	英検準1級コースⅡ	佐藤 方美
文学Ⅰ-Ⅱ	片桐 智明	ドイツ語会話A	片桐 智明	TOEICコースⅠ	有吉淳一郎
文学Ⅱ-Ⅰ	林 千宏	ドイツ語会話B	片桐 智明	TOEICコースⅡ	有吉淳一郎
文学Ⅱ-Ⅱ	林 千宏	Call I	D.A. Del Raye	時事英語Ⅰ	有吉淳一郎
倫理学(専)	清水 大介	Call II	D.A. Del Raye	時事英語Ⅱ	有吉淳一郎
倫理学Ⅰ	松田 美佳	Communication I	Wayne YOKOYAMA	ビジネス英語Ⅰ	佐藤 方美
倫理学Ⅱ	松田 美佳	Communication II	Wayne YOKOYAMA	ビジネス英語Ⅱ	佐藤 方美
実践文章講座Ⅰ	八木 晃介	Listening Skills I	佐藤 方美	英米文学	佐藤 方美
単位互換科目Ⅰ2	認定	Listening Skills II	佐藤 方美	Topic Study	佐藤 方美
単位互換科目Ⅰ3	認定	Reading Skills I	佐藤 方美	English Workshop I	佐藤 方美
単位互換科目Ⅱ2	認定	Reading Skills II	佐藤 方美	English Workshop II	佐藤 方美
単位互換科目Ⅲ3	認定	資格英語Ⅲ	佐藤 方美	Academic English I	佐藤 方美
禅とこころⅠ	細川 景一	資格英語Ⅳ	佐藤 方美	Academic English II	佐藤 方美

ハンゲル(実習)	中島 志郎	中国語1I(中国文化演習1)	朱 園園	中国語総合入門II	山本 好恵
ハンゲル(入門) I1	松尾 洋二	中国語2A(入門II)	衣川 賢次	中国理解I	朱 園園
ハンゲル(入門) I2	林 明奎	中国語2B(入門II)	衣川 賢次	中国理解II	朱 園園
ハンゲル(入門) I3	沈 明姫	中国語2C(入門II)	朱 園園	中国語初級会話・作文I	張 龍龍
ハンゲル(入門) II1	松尾 洋二	中国語2D(入門II)	朱 園園	中国語初級会話・作文II	張 龍龍
ハンゲル(入門) II2	林 明奎	中国語2K(中国文化演習3)	朱 園園	PRETECCI	山本 好恵
ハンゲル(入門) II3	沈 明姫	中国語3A(中級会話1)	山本 好恵	PRETECCI II	山本 好恵
ハンゲル(中級) I2	周 相勲	中国語3D(検定中国語1)	山本 好恵	中国文化論I	張 龍龍
ハンゲル(中級) II2	周 相勲	中国語4B(中級作文II)	山本 好恵	中国文化論II	張 龍龍
ハンゲル(上級) I	林 明奎	中国語4D(検定中国語2)	山本 好恵	中国語中級会話・作文I	山本 好恵
ハンゲル(上級) II	林 明奎	中国語5B(中国文化論1)	張 龍龍	中国語中級会話・作文II	山本 好恵
ハンゲル検定IA	周 相勲	中国語7B(中国文化演習4)	北畠 利信	中国の歴史と地理I	北畠 利信
ハンゲル実用会話I	金 世姫	中国語8B(中国研究)	北畠 利信	中国の歴史と地理II	北畠 利信
ハンゲル実用会話II	金 世姫	中国語9G(中国文学研究)	北畠 利信	中国文学研究	北畠 利信
韓国文化I	中島 志郎	中国語入門I1	衣川 賢次	中国における日本語教育I	香月 成文
韓国文化II	中島 志郎	中国語入門I2	朱 園園	中国における日本語教育II	張 龍龍
韓国文化III	周 相勲	中国語入門II1	衣川 賢次	日中会話相互学習I	張 龍龍
韓国文化IV	周 相勲	中国語入門II2	朱 園園	日中会話相互学習II	張 龍龍
長期留学(ハンゲルブロック)	中島 志郎	中国語入門III1	衣川 賢次	長期留学(中国語ブロック)	衣川 賢次
中国語1A(入門I)	衣川 賢次	中国語入門III2	朱 園園	アダプテッド・エクササイズ論	山本 真史
中国語1B(入門I)	衣川 賢次	中国語入門IV1	衣川 賢次	エアロビクス・ダンスI	松久ミユキ
中国語1C(入門I)	朱 園園	中国語入門IV2	朱 園園	エアロビクス・ダンスII	松久ミユキ
中国語1D(入門I)	朱 園園	中国語総合入門I	山本 好恵	ストレッチングの理論と実際I	前川 弘美

ストレッチングの理論と実際Ⅱ	前川 弘美	体育実技ⅩⅣ	山本 清文	地理学(地誌を含む)Ⅱ	安倉 良二
運動科学論Ⅰ	田口 貞善	体育実技ⅩⅤ	松田 有司	OS入門Ⅰ	姫野 俊一
運動科学論Ⅱ	田口 貞善	体育実技ⅩⅥ	野田光太郎	キーボードタッチと文書作成Ⅰ	合田 千景
丸ごと健康学	江川 達郎	体育実技ⅩⅦ	長瀬 福子	キーボードタッチと文書作成Ⅱ	合田 千景
筋力トレーニングの理論と実際	山元 正史	体育実技ⅩⅧ	松田 有司	キーボードタッチと文書作成Ⅲ	中尾 光一
健康運動実技指導論と実際Ⅰ	松久ミユキ	体育実技ⅩⅨⅠ	江川 達郎	キーボードタッチと文書作成Ⅳ	大谷 由香
健康運動実技指導論と実際Ⅱ	松久ミユキ	体育実技ⅩⅨⅡ	松田 有司	キーボードタッチと文書作成Ⅴ	合田 千景
健康運動処方論	赤松 裕訓	救命救急処置	山口 一仁	キーボードタッチと文書作成Ⅵ	田中 直子
健康学	江川 達郎	運動障害と予防	長野 真弓	キーボードタッチと文書作成Ⅶ	田中 直子
体育実技Ⅰ	山元 正史	体力測定と評価Ⅰ	田口 貞善	キーボードタッチと文書作成Ⅷ	友田 義行
体育実技Ⅱ	山本 清文	スポーツ栄養学	田口 華代	キーボードタッチと文書作成Ⅸ	合田 千景
体育実技Ⅲ	山本 清文	スポーツ心理学	山本 真史	キーボードタッチと文書作成Ⅹ	友田 義行
体育実技Ⅳ	山本 清文	水泳・水中運動	松田 有司	表計算入門Ⅰ	佐藤 円
体育実技Ⅴ	松田 有司	エコシステム論Ⅰ	岸野 拓男	表計算入門Ⅱ	佐藤 円
体育実技Ⅵ	野田光太郎	エコシステム論Ⅱ	岸野 拓男	表計算入門Ⅲ	中尾 光一
体育実技Ⅶ	長瀬 福子	自然科学と環境問題	前中 一晃	表計算入門Ⅳ	中尾 光一
体育実技Ⅷ	松田 有司	生活科学Ⅰ	岸野 拓男	表計算中級Ⅰ	佐藤 円
体育実技Ⅸ	江川 達郎	生活科学Ⅱ	岸野 拓男	表計算中級Ⅱ	佐藤 円
体育実技ⅩⅠ	松久ミユキ	生命科学Ⅰ	田中 真介	表計算中級Ⅲ	中尾 光一
体育実技ⅩⅡ	松久ミユキ	生命科学Ⅱ	田中 真介	表計算中級Ⅳ	中尾 光一
体育実技ⅩⅢ	山本 清文	生命体としての地球Ⅰ	前中 一晃	ニューズの現場Ⅰ	三谷 茂
		生命体としての地球Ⅱ	前中 一晃	ニューズの現場Ⅱ	三谷 茂
		地理学(地誌を含む)Ⅰ	安倉 良二	マスメディア論Ⅰ	三谷 茂

マスメディア論Ⅱ	三谷 茂	法学（国際法を含む）	川崎航史郎	禪とは何かⅠ	中島 志郎
社会学Ⅰ	八木 晃介	民法	幸田 功	禪とは何かⅡ	中島 志郎
社会学Ⅱ	八木 晃介	職業学入門	山中 昌幸	アジア仏教文化論Ⅰ	平岡三峰子
情報文化論Ⅰ	小林 敏昭	就職試験対策	村瀬 臣男	アジア仏教文化論Ⅱ	平岡三峰子
情報文化論Ⅱ	小林 敏昭	日本語能力向上	竹本 知行	インドの文学Ⅰ	佐々木 閑
新聞概論Ⅰ	藤井 昭三	仕事と現代社会	幸田 功	インドの文学Ⅱ	佐々木 閑
新聞概論Ⅱ	藤井 昭三	インターンシップ（長期）	山中 昌幸	インド人の思想Ⅰ	谷 貞志
一般常識	竹本 知行			インド人の思想Ⅱ	谷 貞志
企業と仕事Ⅰ	岡部 恒	国際禅学科		インド仏教の展開Ⅰ	谷 貞志
企業と仕事Ⅱ	村瀬 臣男	実践禅学Ⅰ―Ⅰ	安永 祖堂	インド仏教の展開Ⅱ	谷 貞志
基礎学力向上Ⅰ	村瀬 臣男	実践禅学Ⅰ―Ⅱ	安永 祖堂	インド仏教の美術Ⅰ	平岡三峰子
基礎学力向上Ⅱ	村瀬 臣男	実践禅学Ⅱ―Ⅰ	寶積 玄承	インド仏教の美術Ⅱ	平岡三峰子
起業研究	山中 昌幸	実践禅学Ⅱ―Ⅱ	寶積 玄承	インド仏教の歴史Ⅰ	仲宗根充修
経済学（教養）Ⅰ	山中 高光	禅学とは何かⅠ	中島 志郎	インド仏教の歴史Ⅱ	仲宗根充修
経済学（教養）Ⅱ	山中 高光	禅学とは何かⅡ	中島 志郎	インド仏教演習Ⅰ	佐々木 閑
經理の仕組み	林 剛史	仏教学とは何かⅠ	吉田 叡禮	インド仏教演習Ⅱ	佐々木 閑
行政法	幸田 功	仏教学とは何かⅡ	吉田 叡禮	シルク・ロードの仏教と文化Ⅰ	手塚 利彰
仕事にはどのようなものがあるのか	幸田 功	仏教学の基礎知識Ⅰ	大竹 晋	シルク・ロードの仏教と文化Ⅱ	手塚 利彰
世の中の仕組み	三宅 和昭	仏教学の基礎知識Ⅱ	松本 純子	華嚴経の世界Ⅰ	吉田 叡禮
生活を動かす経済	三宅 和昭	仏教学の基礎知識Ⅲ	松本 純子	華嚴経の世界Ⅱ	吉田 叡禮
伝統産業	辻 恒人	仏教とは何かⅠ	大竹 晋	中国の仏典Ⅰ	安永 祖堂
日本国憲法Ⅰ	井口 吉男	仏教とは何かⅡ	吉田 叡禮	中国の仏典Ⅱ	安永 祖堂
日本国憲法Ⅱ	井口 吉男	仏教とは何かⅢ	吉田 叡禮	中国の歴史と仏教Ⅰ	加藤 一寧

中国の歴史と仏教Ⅱ	加藤 一寧	京都学研究Ⅰ―Ⅰ	西山 美香	禪のこぼしⅠ	関守 研吾
中国禪宗の語録Ⅰ	廣田 宗玄	京都学研究Ⅰ―Ⅱ	西山 美香	禪のこぼしⅡ	関守 研吾
中国禪宗の語録Ⅱ	廣田 宗玄	華嚴哲学Ⅰ	大竹 晋	禪の古典Ⅰ―Ⅰ	桐野 祥陽
中国仏教演習Ⅰ	吉田 叡禮	華嚴哲学Ⅱ	大竹 晋	禪の古典Ⅰ―Ⅱ	桐野 祥陽
中国仏教演習Ⅱ	吉田 叡禮	近代の禪思想Ⅰ	中島 志郎	禪の古典Ⅱ―Ⅰ	長谷川泰生
中国仏教演習Ⅲ	安永 祖堂	近代の禪思想Ⅱ	中島 志郎	禪の古典Ⅱ―Ⅱ	長谷川泰生
中国仏教演習Ⅳ	安永 祖堂	現代の宗教思想としての禪Ⅰ	根本 治子	布教実習	上沼 雅龍
中国仏教演習Ⅴ	安永 祖堂	現代の宗教思想としての禪Ⅱ	根本 治子	法式実習Ⅰ	上沼 雅龍
唐代の禪Ⅰ	西口 芳男	現代西歐思想と禪Ⅰ	清水 大介	法式実習Ⅱ	山崎 紹耕
唐代の禪Ⅱ	西口 芳男	現代西歐思想と禪Ⅱ	清水 大介	臨濟宗の現代的課題Ⅰ	衣斐 弘行
栄西と道元Ⅰ	中尾 良信	親鸞・パウロ・道元Ⅰ	松岡由香子	臨濟宗の現代的課題Ⅱ	衣斐 弘行
栄西と道元Ⅱ	中尾 良信	親鸞・パウロ・道元Ⅱ	松岡由香子	禪的教育法Ⅰ	上沼 雅龍
海を越えてきた仏教Ⅰ	野呂 靖	禪思想演習Ⅰ	中島 志郎	禪的教育法Ⅱ	上沼 雅龍
海を越えてきた仏教Ⅱ	野呂 靖	禪思想演習Ⅱ	中島 志郎	原始仏教の思想Ⅰ	谷 貞志
京都の禪宗Ⅰ（京都学研究Ⅰ―Ⅰ）	西山 美香	東西の死生観Ⅰ	中島 志郎	原始仏教の思想Ⅱ	谷 貞志
京都の禪宗Ⅱ（京都学研究Ⅰ―Ⅱ）	西山 美香	東西の死生観Ⅱ	中島 志郎	仏教の教理（華嚴と天台）Ⅰ	吉田 叡禮
禪宗と日中交流Ⅰ	西尾 賢隆	東西の死生観Ⅲ	安永 祖堂	仏教の教理（中観と唯識）Ⅰ	大竹 晋
禪宗と日中交流Ⅱ	西尾 賢隆	欧米の禪事情Ⅰ	安永 祖堂	仏教の論理（中観と唯識）Ⅱ	大竹 晋
禪文化研究Ⅰ	鈴木 洋保	欧米の禪事情Ⅱ	上沼 雅龍	日本禪宗の展開Ⅰ	西尾 賢隆
禪文化研究Ⅱ	鈴木 洋保	寺史の研究Ⅰ	上沼 雅龍	日本禪宗の展開Ⅱ	西尾 賢隆
日本の仏教文献Ⅰ	千田たくま	寺史の研究Ⅱ	長谷川泰生	日本仏教の歴史Ⅰ	野呂 靖
日本の仏教文献Ⅱ	千田たくま	書式実習	吉田 叡禮	日本仏教の歴史Ⅱ	野呂 靖
日本仏教演習Ⅲ	中尾 良信	接心Ⅰ	吉田 叡禮		
日本仏教演習Ⅳ	中尾 良信	接心Ⅱ	吉田 叡禮		

仏教と医療・福祉Ⅰ	根本 治子	中国の禅籍Ⅱ	廣田 宗玄	禅の文化Ⅵ―Ⅱ	平出 全价
仏教と医療・福祉Ⅱ	根本 治子	漢詩入門Ⅰ	安永 祖堂	中国禅宗の歴史Ⅰ	西口 芳男
禅宗日課經典の解説Ⅰ	野口 善敬	漢詩入門Ⅱ	安永 祖堂	中国禅宗の歴史Ⅱ	西口 芳男
禅宗日課經典の解説Ⅱ	野口 善敬	サンスクリット語(初)	松本 純子	哲学概論	重松 健人
僧堂生活の基礎Ⅰ	上沼 雅龍	サンスクリット語(中)	谷 貞志	東洋医学Ⅰ	樺島 勝徳
僧堂生活の基礎Ⅱ	上沼 雅龍	ミヤンマー仏教の生活と文化Ⅰ	平木 光二	東洋医学Ⅱ	樺島 勝徳
住職基礎講座Ⅰ	衣斐 弘行	ミヤンマー仏教の生活と文化Ⅱ	平木 光二	仏教文化概論	野口 善敬
住職基礎講座Ⅱ	衣斐 弘行	京都学各論Ⅰ	佐々木日嘉里	国際禅学科 卒論指導	安永 祖堂
特別演習Ⅰ	吉田 叡禮	宗教学(専)	松本 直樹	特別演習	吉田 叡禮
チベットの仏教と文化Ⅰ	手塚 利彰	宗教史	松岡由香子		
チベットの仏教と文化Ⅱ	手塚 利彰	禅とカルトⅠ	長崎 誠人	史学科	
国際禅学演習Ⅰ	佐々木 閑	禅とカルトⅡ	長崎 誠人	史学概論	森口 京子
国際禅学演習Ⅱ	吉田 叡禮	禅と生命科学Ⅰ	佐々木 閑	日本史学概説Ⅰ	中町美香子
国際禅学演習Ⅲ	安永 祖堂	禅と生命科学Ⅱ	佐々木 閑	日本史学概説Ⅱ	上野 大輔
国際禅学演習Ⅳ	中尾 良信	禅の文化Ⅰ―A―Ⅰ	柳澤 操子	日本禅宗史HⅠ	上田 純一
国際禅学演習Ⅴ	中尾 良信	禅の文化Ⅰ―A―Ⅱ	柳澤 操子	日本禅宗史HⅡ	上田 純一
漢文の基礎Ⅰ―Ⅰ	千田たたくま	禅の文化Ⅱ―Ⅰ	鶴飼 栖月	日本仏教史Ⅰ	東館 紹見
漢文の基礎Ⅰ―Ⅱ	千田たたくま	禅の文化Ⅱ―Ⅱ	鶴飼 栖月	日本仏教史Ⅱ	東館 紹見
漢文の基礎Ⅱ―Ⅰ	桐野 祥陽	禅の文化Ⅲ―Ⅰ	堀内 宗完	近現代史研究Ⅰ	松田 敬之
漢文の基礎Ⅱ―Ⅱ	桐野 祥陽	禅の文化Ⅲ―Ⅱ	堀内 宗完	近現代史研究Ⅱ	松田 敬之
日本の禅籍Ⅰ	長谷川泰生	禅の文化Ⅳ―Ⅰ	佐々木日嘉里	近世史研究Ⅰ	鍛冶 宏介
日本の禅籍Ⅱ	長谷川泰生	禅の文化Ⅳ―Ⅱ	佐々木日嘉里	近世史研究Ⅱ	鍛冶 宏介
中国の禅籍Ⅰ	廣田 宗玄	禅の文化Ⅵ―Ⅰ	平出 全价	古代史研究Ⅰ	中野渡俊治

古代史研究Ⅱ	中野渡俊治	研究入門演習Ⅰ4	鈴木 康子	日本史学演習BⅡ	小林 保夫
中世史研究Ⅰ	高島 幸次	研究入門演習Ⅰ5	福島 恒徳	日本史学演習BⅢ	鈴木 康子
中世史研究Ⅱ	高島 幸次	研究入門演習Ⅰ7	後藤 真	日本史学演習BⅣ	松田 隆行
古文書学Ⅰ	谷端 昭夫	研究入門演習Ⅱ1	横井 靖仁	日本史学演習BⅤ	松田 敬之
古文書学Ⅱ	谷端 昭夫	研究入門演習Ⅱ2	松田 隆行	日本史学演習BⅥ	福島 恒徳
古文書学実習Ⅰ	熟 美保子	研究入門演習Ⅱ3	鈴木 康子	日本史学演習BⅦ	後藤 真
古文書学実習Ⅱ	鈴木 康子	研究入門演習Ⅱ4	中野渡俊治	日本史学演習BⅧ	高橋 克壽
古文書学実習Ⅲ	平良 聡弘	研究入門演習Ⅱ5	福島 恒徳	日本史学演習BⅧ	芳井 敬郎
古文書学実習Ⅳ	鈴木 康子	研究入門演習Ⅱ7	後藤 真	史学概論Ⅰ	森口 京子
日本史学入門Ⅰ	松田 隆行	日本史学講読Ⅰ	中野渡俊治	史学概論Ⅱ	森口 京子
基礎演習Ⅰ1	向井 啓二	日本史学講読Ⅱ	田中 純子	日本史学概説Ⅰ—Ⅰ	中町美香子
基礎演習Ⅰ2	平良 聡弘	日本史学講読Ⅲ	鈴木 康子	日本史学概説Ⅰ—Ⅱ	中町美香子
基礎演習Ⅰ3	小坂 慶介	日本史学講読Ⅳ	松田 敬之	日本史学概説Ⅱ—Ⅰ	上野 大輔
基礎演習Ⅰ4	熟 美保子	日本史学演習AⅠ	中野渡俊治	日本史学概説Ⅱ—Ⅱ	上野 大輔
基礎演習Ⅰ5	上野 大輔	日本史学演習AⅡ	小林 保夫	日本史学入門Ⅰ	松田 隆行
基礎演習Ⅱ1	平良 聡弘	日本史学演習AⅢ	鈴木 康子	東洋史概説Ⅰ	増田 知之
基礎演習Ⅱ2	向井 啓二	日本史学演習AⅣ	松田 隆行	東洋史概説Ⅱ	増田 知之
基礎演習Ⅱ3	熟 美保子	日本史学演習AⅤ	松田 敬之	西洋史概説Ⅰ	四方 俊祐
基礎演習Ⅱ4	小坂 慶介	日本史学演習AⅥ	福島 恒徳	西洋史概説Ⅱ	四方 俊祐
基礎演習Ⅱ5	中町美香子	日本史学演習AⅦ	後藤 真	日本史学講読Ⅰ—Ⅰ	中野渡俊治
研究入門演習Ⅰ1	松田 隆行	日本史学演習AⅧ	高橋 克壽	日本史学講読Ⅰ—Ⅱ	中野渡俊治
研究入門演習Ⅰ2	横井 靖仁	日本史学演習AⅨ	芳井 敬郎	日本史学講読Ⅱ—Ⅰ	田中 純子
研究入門演習Ⅰ3	中野渡俊治	日本史学演習BⅠ	中野渡俊治	日本史学講読Ⅱ—Ⅱ	田中 純子

日本史学講読Ⅲ—Ⅰ	鈴木 康子	図書館概論	堤 美智子	仏教考古学Ⅰ	中島 正
日本史学講読Ⅲ—Ⅱ	鈴木 康子	図書館経営論	山田 忠彦	仏教考古学Ⅱ	中島 正
日本史学講読Ⅳ—Ⅰ	松田 敬之	生涯学習概論Ⅰ	明珍 健二	仏教美術史Ⅰ	郷司 泰仁
日本史学講読Ⅳ—Ⅱ	松田 敬之	生涯学習概論Ⅱ	明珍 健二	仏教美術史Ⅱ	郷司 泰仁
京都学概論Ⅰ	石川登志雄	西洋史概説	四方 俊祐	仏教民俗学Ⅰ	青江 智洋
京都学概論Ⅱ	石川登志雄	対外交渉史Ⅰ—Ⅰ	鈴木 康子	仏教民俗学Ⅱ	青江 智洋
京都学各論Ⅱ	福島 恒徳	対外交渉史Ⅰ—Ⅱ	鈴木 康子	総合日本史学 卒論指導	松田 隆行
京都学各論ⅣⅠ	新間 水緒	対外交渉史Ⅱ—Ⅰ	平良 聡弘	日本史学 卒論指導	松田 隆行
京都学各論ⅣⅡ	芳井 敬郎	対外交渉史Ⅱ—Ⅱ	平良 聡弘	考古学概論Ⅰ	高橋 克壽
京都学研究Ⅱ—Ⅰ	石川登志雄	地誌学Ⅰ	元田 茂充	考古学概論Ⅱ	高橋 克壽
京都学研究Ⅱ—Ⅱ	石川登志雄	地誌学Ⅱ	元田 茂充	美術史学概論Ⅰ	福島 恒徳
京都学研究Ⅳ—ⅠⅠ	福島 恒徳	東洋史概説	増田 知之	美術史学概論Ⅱ	福島 恒徳
京都学研究Ⅳ—ⅠⅡ	松田 隆行	日本経済史Ⅰ	鈴木 康子	民俗学概論Ⅰ	芳井 敬郎
京都学研究Ⅳ—ⅡⅠ	福島 恒徳	日本経済史Ⅱ	鈴木 康子	民俗学概論Ⅱ	芳井 敬郎
京都学研究Ⅳ—ⅡⅡ	松田 隆行	日本政治史Ⅰ	松田 隆行	考古学研究Ⅰ	高橋 克壽
経済学(国際経済を含む)Ⅰ	山中 高光	日本政治史Ⅱ	松田 隆行	考古学研究Ⅱ	高橋 克壽
経済学(国際経済を含む)Ⅱ	山中 高光	日本禅宗史研究Ⅰ	直林 不退	美術史研究Ⅰ	福島 恒徳
自然地理学Ⅰ	遠川 明彦	日本禅宗史研究Ⅱ	直林 不退	美術史研究Ⅱ	福島 恒徳
自然地理学Ⅱ	遠川 明彦	日本仏教史研究Ⅰ	廣庭 基介	民俗学研究Ⅰ	鹿谷 勲
書誌学Ⅰ	古川 千佳	日本仏教史研究Ⅱ	廣庭 基介	民俗学研究Ⅱ	鹿谷 勲
書誌学Ⅱ	古川 千佳	博物館概論Ⅰ	明珍 健二	考古学実習Ⅰ	三好 孝一
人文地理学Ⅰ	元田 茂充	博物館学各論Ⅰ	明珍 健二	考古学実習Ⅱ	三好 孝一
人文地理学Ⅱ	元田 茂充	博物館学各論Ⅱ	明珍 健二	美術史実習Ⅰ	志水 一行

美術史実習Ⅱ	福島 恒徳	プレゼンテーション実習	大谷 由香	文化遺産学基礎演習ⅠⅠ	小坂 慶介
民俗学実習Ⅰ	鹿谷 勲	コンピュータ基礎AⅠⅠ	姫野 俊一	文化遺産学基礎演習ⅠⅡ	熟 美保子
民俗学実習Ⅱ	鹿谷 勲	コンピュータ基礎AⅠⅡ	姫野 俊一	文化遺産学基礎演習ⅡⅠ	熟 美保子
有職故実Ⅰ	廣庭 基介	コンピュータ基礎BⅠⅠ	姫野 俊一	文化遺産学基礎演習ⅡⅡ	小坂 慶介
有職故実Ⅱ	廣庭 基介	コンピュータ基礎BⅠⅡ	姫野 俊一	文化遺産学研究入門演習Ⅰ	福島 恒徳
考古学・民俗学・美術史 卒論指導	福島 恒徳	ネットワーク論	佐藤 円	文化遺産学研究入門演習Ⅰ	芳井 敬郎
禅文化史Ⅰ	山田 哲也	コンピュータ数学基礎A	姫野 俊一	文化遺産学研究入門演習Ⅰ	高橋 康夫
禅文化史Ⅱ	福島 恒徳	コンピュータ数学基礎B	姫野 俊一	文化遺産学研究入門演習Ⅰ	高橋 克壽
禅文化史研究Ⅰ	谷端 昭夫	情報物理学基礎	姫野 俊一	文化遺産学研究入門演習Ⅰ	明珍 健二
禅文化史研究Ⅱ	谷端 昭夫	情報数学・情報理論入門	姫野 俊一	文化遺産学研究入門演習Ⅰ	後藤 真
中国禅宗史Ⅰ	西口 芳男	コンピュータ・ネットワーク入門	佐藤 円	文化遺産学研究入門演習Ⅱ	福島 恒徳
中国禅宗史Ⅱ	西口 芳男	パーソナルコンピュータ活用技術A	佐藤 円	文化遺産学研究入門演習Ⅱ	芳井 敬郎
禅文化史 卒論指導	小林 保夫	パーソナルコンピュータ活用技術B	佐藤 円	文化遺産学研究入門演習Ⅱ	高橋 康夫
データベースシステムA	合田 千景	情報と社会	茂樹 茂樹	文化遺産学研究入門演習Ⅱ	高橋 克壽
データベースシステムB	合田 千景	情報通信技法A	茂樹 茂樹	文化遺産学研究入門演習Ⅱ	明珍 健二
情報メディア	師 茂樹	情報通信技法B	師 茂樹	文化遺産学研究入門演習Ⅱ	後藤 真
情報メディア実習	大谷 由香	情報処理活用論A	師 茂樹	文化遺産学演習AⅠ	高橋 克壽
情報検索演習Ⅰ	堤 美智子	情報処理活用論B	師 茂樹	文化遺産学演習AⅡ	芳井 敬郎
情報検索演習Ⅱ	堤 美智子	情報歴史学 卒論指導	後藤 真	文化遺産学演習AⅢ	福島 恒徳
コンピュータ歴史学Ⅰ	後藤 真	文化遺産学科		文化遺産学演習AⅣ	後藤 真
コンピュータ歴史学Ⅱ	後藤 真	文化遺産学総論Ⅰ	福島 恒徳	文化遺産学演習AⅤ	明珍 健二
情報歴史学研究Ⅰ	師 茂樹	文化遺産学総論Ⅱ	福島 恒徳	文化遺産学演習AⅥ	高橋 康夫
情報歴史学研究Ⅱ	師 茂樹			文化遺産学演習BⅠ	高橋 克壽

文化遺産学演習BⅡ	芳井 敬郎	現代文化史(近代・現代)Ⅱ	友田 義行	中世文学研究Ⅰ―Ⅰ	生井真理子
文化遺産学演習BⅢ	福島 恒徳	現代文化論Ⅰ	橋本 淳	中世文学研究Ⅰ―Ⅱ	生井真理子
文化遺産学演習BⅣ	後藤 真	現代文化論Ⅱ	橋本 淳	仏教文学研究Ⅰ―Ⅰ	菊池 政和
文化遺産学演習BⅤ	明珍 健二	国語学概論Ⅰ	橋本 行洋	仏教文学研究Ⅰ―Ⅱ	菊池 政和
文化遺産学演習BⅥ	高橋 康夫	国語学概論Ⅱ	橋本 行洋	現代文化講読Ⅰ―Ⅰ	内藤 由直
情報歴史学概論Ⅰ	後藤 真	国語史Ⅰ―Ⅰ	當山日出夫	現代文化講読Ⅰ―Ⅱ	内藤 由直
情報歴史学概論Ⅱ	後藤 真	国語史Ⅰ―Ⅱ	當山日出夫	現代文化講読Ⅱ―Ⅰ	佳多山大地
文化遺産学特論Ⅰ	高橋 康夫	国文学概論Ⅰ	丸山 顯徳	現代文化講読Ⅱ―Ⅱ	佳多山大地
文化遺産学特論Ⅱ	高橋 康夫	国文学概論Ⅱ	丸山 顯徳	現代文化講読Ⅲ―Ⅰ	福原 正行
情報歴史学実習Ⅰ	田中 正流	国文学史(古典)Ⅰ	曾根 誠一	現代文化講読Ⅲ―Ⅱ	福原 正行
情報歴史学実習Ⅱ	田中 正流	国文学史(古典)Ⅱ	新間 水緒	現代文化講読Ⅳ―Ⅰ	秦 美香子
文化遺産学 卒論指導	福島 恒徳	近現代小説研究Ⅰ―Ⅰ	関 肇	現代文化講読Ⅳ―Ⅱ	秦 美香子
		近現代小説研究Ⅰ―Ⅱ	関 肇	国語学講読Ⅰ	余田 弘実
		近世文学研究Ⅰ―Ⅰ	川上 陽介	国語学講読Ⅱ	余田 弘実
		近世文学研究Ⅰ―Ⅱ	川上 陽介	国文学講読Ⅰ―Ⅰ	丸山 顯徳
国文学科	曾根 誠一	国語学研究Ⅰ―Ⅰ	橋本 行洋	国文学講読Ⅰ―Ⅱ	丸山 顯徳
研究入門Ⅰ	曾根 誠一	国語学研究Ⅰ―Ⅱ	橋本 行洋	国文学講読Ⅱ―Ⅰ	曾根 誠一
研究入門Ⅱ	川上 陽介	上代文学研究Ⅰ―Ⅰ	丸山 顯徳	国文学講読Ⅱ―Ⅱ	曾根 誠一
研究入門Ⅲ	川上 陽介	上代文学研究Ⅰ―Ⅱ	丸山 顯徳	国文学講読Ⅲ―Ⅰ	新間 水緒
研究入門Ⅳ	橋本 行洋	上代文学研究Ⅱ―Ⅰ	丸山 顯徳	国文学講読Ⅲ―Ⅱ	新間 水緒
研究入門Ⅱ	橋本 行洋	大衆文学研究Ⅰ―Ⅰ	佳多山大地	国文学講読Ⅳ―Ⅰ	川上 陽介
研究入門Ⅲ	内藤 由直	大衆文学研究Ⅰ―Ⅱ	佳多山大地	国文学講読Ⅳ―Ⅱ	川上 陽介
研究入門Ⅳ	内藤 由直	中古文学研究Ⅰ―Ⅰ	曾根 誠一	国語学演習AⅠ	橋本 行洋
現代文化史(近代・現代)Ⅰ	友田 義行	中古文学研究Ⅰ―Ⅱ	曾根 誠一		

国語学演習 A II	橋本 行洋	日本文学概論 I	丸山 顯徳	上代文学研究 II	丸山 顯徳
国語学演習 B I	橋本 行洋	日本文学概論 II	丸山 顯徳	中古文学研究 I	曾根 誠一
国語学演習 B II	橋本 行洋	日本語学概論 I	橋本 行洋	中古文学研究 II	曾根 誠一
国文学演習 A I— I	丸山 顯徳	日本語学概論 II	橋本 行洋	中世文学研究 I	生井真理子
国文学演習 A I— II	丸山 顯徳	日本語史 I	當山日出夫	中世文学研究 II	生井真理子
国文学演習 A II— I	曾根 誠一	日本語史 II	當山日出夫	近世文学研究 I	川上 陽介
国文学演習 A II— II	曾根 誠一	日本文学史(古典) I— I	曾根 誠一	近世文学研究 II	川上 陽介
国文学演習 A III— I	新間 水緒	日本文学史(古典) I— II	新間 水緒	日本語学研究 I	橋本 行洋
国文学演習 A III— II	新間 水緒	日本文学史(近現代) II— I	渡邊 ルリ	日本語学研究 II	橋本 行洋
国文学演習 B I— I	丸山 顯徳	日本文学史(近現代) II— II	渡邊 ルリ	仏教文学研究 I	菊池 政和
国文学演習 B I— II	丸山 顯徳	日本文学講読 I— I	丸山 顯徳	仏教文学研究 II	菊池 政和
国文学演習 B II— I	曾根 誠一	日本文学講読 I— II	丸山 顯徳	近現代文学研究 I	関 肇
国文学演習 B II— II	曾根 誠一	日本文学講読 II— I	曾根 誠一	近現代文学研究 II	関 肇
国文学演習 B III— I	新間 水緒	日本文学講読 II— II	曾根 誠一	大衆文学研究 I	佳多山大地
国文学演習 B III— II	新間 水緒	日本文学講読 III— I	新間 水緒	大衆文学研究 II	佳多山大地
基礎講読 I— I 1	曾根 誠一	日本文学講読 III— II	新間 水緒	日本文学演習 A I— I	丸山 顯徳
基礎講読 I— I 2	曾根 誠一	日本文学講読 IV— I	川上 陽介	日本文学演習 A I— II	丸山 顯徳
基礎講読 I— II 1	川上 陽介	日本文学講読 IV— II	川上 陽介	日本文学演習 A II— I	曾根 誠一
基礎講読 I— II 2	川上 陽介	日本文学講読 V— I	内藤 由直	日本文学演習 A II— II	曾根 誠一
基礎講読 II— I 1	橋本 行洋	日本文学講読 V— II	内藤 由直	日本文学演習 A III— I	新間 水緒
基礎講読 II— I 2	橋本 行洋	日本語学講読 I	余田 弘実	日本文学演習 A III— II	新間 水緒
基礎講読 II— II 1	内藤 由直	日本語学講読 II	余田 弘実	日本文学演習 A IV— I (1)	橋本 正志
基礎講読 II— II 2	内藤 由直	上代文学研究 I	丸山 顯徳	日本文学演習 A IV— I (2)	杲 由美

日本文学演習AⅣ―Ⅱ(1)	橋本 正志	古典芸能論Ⅱ	白井 喜法	中国文学史Ⅰ	谷口 高志
日本文学演習AⅣ―Ⅱ(2)	杲 由美	古典文法基礎	八島 由香	中国文学史Ⅱ	谷口 高志
日本語学演習AⅠ	橋本 行洋	国語表現論Ⅰ	大和シゲミ	国文学 卒論指導	丸山 顯徳
日本語学演習AⅡ	橋本 行洋	国語表現論Ⅱ	大和シゲミ	日本文学 卒論指導	丸山 顯徳
日本文学演習BⅠ―Ⅰ	丸山 顯徳	国文学情報処理Ⅰ	當山日出夫	現代文化演習AⅠ―Ⅰ	浅子 逸男
日本文学演習BⅠ―Ⅱ	丸山 顯徳	国文学情報処理Ⅱ	當山日出夫	現代文化演習AⅠ―Ⅱ	浅子 逸男
日本文学演習BⅡ―Ⅰ	曾根 誠一	国文法通説Ⅰ	余田 弘実	現代文化演習AⅡ―Ⅰ	椿井 里子
日本文学演習BⅡ―Ⅱ	曾根 誠一	国文法通説Ⅱ	余田 弘実	現代文化演習AⅡ―Ⅱ	椿井 里子
日本文学演習BⅢ―Ⅰ	新聞 水緒	写本講説Ⅰ	池尾 和也	現代文化演習AⅢ―Ⅰ	今井 隆介
日本文学演習BⅢ―Ⅱ	新聞 水緒	写本講説Ⅱ	池尾 和也	現代文化演習AⅢ―Ⅱ	今井 隆介
日本文学演習BⅣ―Ⅰ(2)	杲 由美	日本語表現論Ⅰ	大和シゲミ	現代文化演習AⅣ―Ⅰ	秦 美香子
日本文学演習BⅣ―Ⅱ(2)	杲 由美	日本語表現論Ⅱ	大和シゲミ	現代文化演習AⅣ―Ⅱ	秦 美香子
日本語学演習BⅠ	橋本 行洋	日本文学情報処理Ⅰ	當山日出夫	現代文化演習BⅠ―Ⅰ	浅子 逸男
日本語学演習BⅡ	橋本 行洋	日本文学情報処理Ⅱ	當山日出夫	現代文化演習BⅠ―Ⅱ	浅子 逸男
映像メディア論Ⅰ	出口 麻紀	日本文学総合Ⅰ―Ⅰ	山本 明忠	現代文化演習BⅡ―Ⅰ	椿井 里子
映像メディア論Ⅱ	出口 麻紀	日本文学総合Ⅰ―Ⅱ	山本 明忠	現代文化演習BⅡ―Ⅱ	椿井 里子
漢文学Ⅰ―Ⅰ	谷口 高志	日本文学総合Ⅱ―Ⅰ	三宅 えり	現代文化演習BⅢ―Ⅰ	今井 隆介
漢文学Ⅰ―Ⅱ	谷口 高志	日本文学総合Ⅱ―Ⅱ	三宅 えり	現代文化演習BⅢ―Ⅱ	今井 隆介
漢文学基礎	谷口 高志	日本文学総合Ⅲ	曾根 誠一	現代文化演習BⅣ―Ⅰ	秦 美香子
京都学各論Ⅲ	丸山 顯徳	日本語文法通説Ⅰ	余田 弘実	現代文化演習BⅣ―Ⅱ	秦 美香子
京都学研究Ⅲ―Ⅰ	三宅 えり	日本語文法通説Ⅱ	余田 弘実	現代文化演習AⅤ―Ⅰ	福原 正行
京都学研究Ⅲ―Ⅱ	八島 由香	漢文学Ⅰ	谷口 高志	現代文化演習AⅤ―Ⅱ	福原 正行
古典芸能論Ⅰ	白井 喜法	漢文学Ⅱ	谷口 高志	現代文化演習BⅤ―Ⅰ	福原 正行

現代文化演習B V―II	福原 正行	書論講読II―II	池田 利広	書道制作II A	日比野光鳳
画像学(イコノロジ) I	夏目房之介	書道基礎実習I A	佐原ちづよ	書道制作II B	日比野光鳳
画像学(イコノロジ) II	夏目房之介	書道基礎実習I B	佐原ちづよ	書道制作III A	榊原 壽弘
電子メディア論I	呉 鴻	書道実習(一) I A	榊原 壽弘	書道制作III B	榊原 壽弘
電子メディア論II	呉 鴻	書道実習(一) I B	榊原 壽弘	書道演習A I―I	榊原 壽弘
アニメの解説I	今井 隆介	書道実習(二) II A	榊原 壽弘	書道演習A I―II	榊原 壽弘
アニメの解説II	今井 隆介	書道実習(二) II B	榊原 壽弘	書道演習A II―I	下野 健児
テレビ論I	山内 久司	書道実習(二) I A	真神 仁宏	書道演習A II―II	下野 健児
テレビ論II	山内 久司	書道実習(二) I B	真神 仁宏	書道演習B I―I	榊原 壽弘
ヴィジュアル・コミュニケーションI	福原 正行	書道実習(二) II A	原田 幹久	書道演習B I―II	榊原 壽弘
ヴィジュアル・コミュニケーションII	福原 正行	書道実習(二) II B	原田 幹久	書道演習B II―I	下野 健児
現代文化 卒論指導1	浅子 逸男	書道実習(三) I A	日比野 実	書道演習B II―II	下野 健児
現代文化 卒論指導2	椿井 里子	書道実習(三) I B	日比野 実	書道実習(六) I A	日比野 実
現代文化 卒論指導3	今井 隆介	書道実習(三) II A	日比野 実	書道実習(六) I B	日比野 実
現代文化 卒論指導4	秦 美香子	書道実習(三) II B	日比野 実	書道実習(中学) I A	佐原ちづよ
現代文化 卒論指導5	福原 正行	書道実習(四) I A	原田 幹久	書道実習(中学) I B	佐原ちづよ
書道概論I	下野 健児	書道実習(四) I B	原田 幹久	書道美学I	池田 利広
書道概論II	下野 健児	書道実習(四) II A	王 衛明	書道美学II	池田 利広
中国書道史I	下野 健児	書道実習(四) II B	王 衛明	書道 卒論指導	下野 健児
中国書道史II	下野 健児	書道実習(五) I A	豊田 宗児	書道 卒業制作	下野 健児
書論講読I―I	下野 健児	書道実習(五) I B	豊田 宗児	創造表現学科	
書論講読I―II	下野 健児	書道制作I A	真神 仁宏		
書論講読II―I	池田 利広	書道制作I B	真神 仁宏	創造表現論I	谷 悟

創造表現論Ⅱ	谷 悟	現代文学講読Ⅰ	浅子 逸男	創造表現演習BⅠ―Ⅱ	浅子 逸男
現代文化史Ⅰ	橋本 淳	現代文学講読Ⅱ	浅子 逸男	創造表現演習BⅡ―Ⅰ	橋本 里子
現代文化史Ⅱ	橋本 淳	ミステリ講読Ⅰ	佳多山大地	創造表現演習BⅡ―Ⅱ	橋本 里子
マンガ研究入門Ⅰ	秦 美香子	ミステリ講読Ⅱ	佳多山大地	創造表現演習BⅢ―Ⅰ	今井 隆介
マンガ研究入門Ⅱ	秦 美香子	アニメ論Ⅰ	今井 隆介	創造表現演習BⅢ―Ⅱ	今井 隆介
映像研究入門Ⅰ	福原 正行	アニメ論Ⅱ	今井 隆介	創造表現演習BⅣ―Ⅰ	秦 美香子
映像研究入門Ⅱ	福原 正行	身体論Ⅰ	山本 清文	創造表現演習BⅣ―Ⅱ	秦 美香子
現代小説入門Ⅰ	浅子 逸男	身体論Ⅱ	山本 清文	創造表現演習BⅤ―Ⅰ	福原 正行
現代小説入門Ⅱ	浅子 逸男	創造表現演習AⅠ―Ⅰ	浅子 逸男	創造表現演習BⅤ―Ⅱ	福原 正行
身体表現入門Ⅰ	長瀬 福子	創造表現演習AⅠ―Ⅱ	浅子 逸男	創造表現演習BⅥ―Ⅰ	松久ミユキ
身体表現入門Ⅱ	長瀬 福子	創造表現演習AⅡ―Ⅰ	椿井 里子	創造表現演習BⅥ―Ⅱ	松久ミユキ
映画史Ⅰ	大澤 浄	創造表現演習AⅡ―Ⅱ	椿井 里子	創造表現演習BⅦ―Ⅰ	野田光太郎
映画史Ⅱ	大澤 浄	創造表現演習AⅢ―Ⅰ	今井 隆介	創造表現演習BⅦ―Ⅱ	野田光太郎
マンガ史Ⅰ	増田のぞみ	創造表現演習AⅢ―Ⅱ	今井 隆介	娯楽小説研究Ⅰ	佳多山大地
マンガ史Ⅱ	吉村 和真	創造表現演習AⅣ―Ⅰ	秦 美香子	娯楽小説研究Ⅱ	佳多山大地
アニメ史Ⅰ	萩原由加里	創造表現演習AⅣ―Ⅱ	秦 美香子	現代文学研究Ⅰ	関 肇
アニメ史Ⅱ	萩原由加里	創造表現演習AⅤ―Ⅰ	福原 正行	現代文学研究Ⅱ	関 肇
現代小説史Ⅰ	友田 義行	創造表現演習AⅤ―Ⅱ	福原 正行	映画の現在Ⅰ	大澤 浄
現代小説史Ⅱ	友田 義行	創造表現演習AⅥ―Ⅰ	松久ミユキ	映画の現在Ⅱ	大澤 浄
マンガ講読Ⅰ	秦 美香子	創造表現演習AⅥ―Ⅱ	松久ミユキ	マンガの現在Ⅰ	秦 美香子
マンガ講読Ⅱ	秦 美香子	創造表現演習AⅦ―Ⅰ	野田光太郎	マンガの現在Ⅱ	秦 美香子
映画評論講読Ⅰ	福原 正行	創造表現演習AⅦ―Ⅱ	野田光太郎	アニメの現在Ⅰ	今井 隆介
映画評論講読Ⅱ	福原 正行	創造表現演習BⅠ―Ⅰ	浅子 逸男	アニメの現在Ⅱ	今井 隆介

音と映像Ⅰ	林 基継	映像表現実習Ⅱ	東陰地正喜	教職課程等 資格課程	
音と映像Ⅱ	林 基継	映像表現実習Ⅲ	遠藤 賢治	メディア教育論Ⅰ	田中 正流
現代演劇論Ⅰ	岡村 宏懇	映像表現実習Ⅳ	遠藤 賢治	メディア教育論Ⅱ	田中 正流
現代演劇論Ⅱ	岡村 宏懇	言語表現実習Ⅰ	當山日出夫	教育課程論(特別活動の指導法を含む)	奥山 研司
デジタル・コンテンツⅠ	福原 正行	言語表現実習Ⅱ	當山日出夫	教育原論②	奥山 研司
デジタル・コンテンツⅡ	福原 正行	トレーニング入門Ⅰ	山元 正史	教育行政学	林 公一
メディア・アートⅠ	呉 鴻	トレーニング入門Ⅱ	松田 有司	教育実習(高校)	奥山 研司
メディア・アートⅡ	呉 鴻	ボディ・バランス入門Ⅰ	山本 清文	教育実習(中学)	奥山 研司
身体表現実習ⅠーⅠ	山本 清文	ボディ・ケア入門Ⅰ	山本 清文	教育社会学	石飛 和彦
身体表現実習ⅠーⅡ	山本 清文	ボディ・ケア入門Ⅱ	松田 伸一	教育心理学(学習心理学を含む)	松下 智子
身体表現実習ⅡーⅠ	野田光太郎	ボディ・ケア入門Ⅲ	松田 伸一	教育相談(カウンセリングを含む)	中塚 圭子
身体表現実習ⅡーⅡ	野田光太郎	ボディ・ケア入門Ⅳ	松田 伸一	教育相談(カウンセリングを含む)	中塚 圭子
身体表現実習ⅢーⅠ	野田光太郎	アクティブ・ムーブメント入門Ⅰ	長瀬 福子	教育法規演習	林 公一
身体表現実習ⅢーⅡ	野田光太郎	アクティブ・ムーブメント入門Ⅱ	長瀬 福子	教育法規演習	林 公一
身体表現実習ⅣーⅠ	高橋 晃子	リラクゼーション入門Ⅰ	長野 真弓	教職概論①	桐田 清秀
身体表現実習ⅣーⅡ	高橋 晃子	リラクゼーション入門Ⅱ	長野 真弓	教職概論②	桐田 清秀
身体表現実習ⅤーⅠ	松久ミユキ	創造表現 卒論指導①	浅子 逸男	学校と教育の歴史	奥山 研司
身体表現実習ⅤーⅡ	松久ミユキ	創造表現 卒論指導②	樺井 里子	教育行政論	林 公一
画像表現実習ⅠーⅠ	小林 文	創造表現 卒論指導③	今井 隆介	教育法規	林 公一
画像表現実習ⅠーⅡ	小林 文	創造表現 卒論指導④	秦 美香子	国語科教育研究	島村 健司
画像表現実習ⅡーⅠ	小林 文	創造表現 卒論指導⑤	福原 正行	国語科教育法	島村 健司
画像表現実習ⅡーⅡ	小林 文	創造表現 卒論指導⑥	松久 ミユキ	レファレンスサービス演習①	堤 美智子
映像表現実習Ⅰ	東陰地正喜	創造表現 卒論指導⑦	野田 光太郎	レファレンスサービス演習②	堤 美智子
				学校経営と学校図書館	大城 善盛

学校図書館メディアの構成	大城 善盛	生徒指導の研究(進路指導を含む)	桐田 清秀	禅思想特論演習(2)	佐々木 閑
学習指導と学校図書館	大城 善盛	専門資料論	山田 忠彦	禅宗学特論演習(3)	竹貫 元勝
資料組織演習1	大城 善盛	総合演習	奥山 研司	禅宗学特殊研究	芳澤 勝弘
資料組織演習2	川崎 秀子	同和教育論1	八木 晃介	禅思想史特殊研究(中国)	吉田 靱禮
資料組織概説	川崎 秀子	同和教育論2	八木 晃介	禅思想史特殊研究(日本)	中尾 良信
資料特論	堤 美智子	道徳教育の研究	桐田 清秀	禅文化特殊研究	西山 美香
児童サービス論	中島 幸子	読書と豊かな人間性	大城 善盛	仏教学特殊研究	師 茂樹
社会科学・公民科教育法	奥山 研司	博物館実習	大城 善盛	宗教哲学研究	清水 大介
社会科学・地歴科教育法	奥山 研司	福祉科教育法	重野 勉	単位互換科目(1)	認定
社会科教育研究	今坂 晃久	教育課程論	奥山 研司	単位互換科目(2)	認定
社会教育演習2	堀江 有里	特別活動の指導法	奥山 研司	単位互換科目(3)	認定
社会教育課題研究1	豊田 輝夫	教育方法論1	田中 伸	単位互換科目(4)	認定
社会教育計画論	上原 博一	教育方法論2	田中 伸		
社会問題と社会教育	豊田 輝夫	教育相談の理論と方法	小川 恭子	日本史学専攻	中野渡俊治
宗教科教育研究	白井 大然	教育社会学論	石飛 和彦	日本史学演習(1)	竹貫 元勝
宗教科教育法	白井 大然			日本史学演習(2)	
書道科教育法	榊原 壽弘			日本史学演習(3)	鈴木 康子
情報サービス概説	堤 美智子	大学院修士課程		日本史学演習(4)	松田 隆行
情報メディアの活用	西川真樹子	仏教学専攻(修士)		日本史学演習(5)	高橋 克壽
図書館サービス論	山田 忠彦	禅思想特論	安永 祖堂	日本史学演習(6)	芳井 敬郎
図書館資料論	山田 忠彦	禅思想史特論	中島 志郎	日本史学演習(7)	福島 恒徳
図書館特論	堤 美智子	禅宗学特論演習(1)	西尾 賢隆	日本史学演習(8)	中野渡俊治
図書及び図書館史	菅 修一	禅宗学特論演習(2)	野口 善敬	古代史研究特論	竹貫 元勝
		禅思想特論演習(1)	西口 芳男	中世史研究特論	

近世史研究特論 鈴木 康子

文学特殊研究Ⅲ

丸山 顯徳

近代史研究特論 松田 隆行

二、二〇一一年度 卒業論文題目

考古学研究特論 高橋 克壽

大学院博士課程

国際禅学科

民俗学研究特論 芳井 敬郎

仏教学専攻(博士)

「一帆風」の考察

中瀬祐太郎

地域史研究特論 明珍 健二

禅思想特殊研究2

佐々木 閑

インド仏教の美術について

一山 将喜

仏教史研究特論 竹貫 元勝

禅宗史特殊研究1

竹貫 元勝

行基の布教活動と国家との関わり。

大本 智勝

対外交渉史研究特論 鈴木 康子

禅宗史特殊研究3

西尾 賢隆

インド仏教哲学の歴史

金井 恒道

古文書学研究特論 松田 隆行

禅思想研究演習2-1

佐々木 閑

禅者における思想

河崎 要亮

美術史学研究特論 福島 恒徳

禅思想研究演習2-2

佐々木 閑

海禅寺史の研究

園山 大穰

国文学専攻

禅思想研究演習2-3

佐々木 閑

南禅寺の歴史

藤山 一樹

国文学演習(1) 丸山 顯徳

禅宗史研究演習1-1

竹貫 元勝

立山信仰と地獄・極楽思想

松本 純子

国文学演習(2) 曾根 誠一

禅宗史研究演習1-2

竹貫 元勝

関ヶ原西軍武将と仏教

吉近 政洋

国文学演習(3) 新聞 水緒

禅宗史研究演習1-3

竹貫 元勝

トンガの結婚と宗教

STONE, NIOKE

国文学演習(4) 浅子 逸男

禅宗史研究演習2-1

西尾 賢隆

妙心寺の歴史について

大江 一

国語学演習(1) 橋本 行洋

禅宗史研究演習2-2

西尾 賢隆

日本における仏教と医療

河村 啓

古代文学研究特論I 丸山 顯徳

禅宗史研究演習2-3

西尾 賢隆

開山義天玄承と美濃地方における臨濟宗の

古代文学研究特論II 曾根 誠一

禅宗史研究演習2-1

西尾 賢隆

広がりについて

鈴木 快南

中世文学研究特論 生井真理子

禅宗史研究演習2-2

西尾 賢隆

開山義天玄承と美濃地方における臨濟宗の

近世文学研究特論 川上 陽介

禅宗史研究演習2-3

西尾 賢隆

獅子舞の一考察

大塚 智之

近代文学研究特論I 関 肇

禅宗史研究演習3

西尾 賢隆

平安時代の怨霊思想

伊藤 圭哉

近代文学研究特論II 佳多山大地

禅宗史研究演習3

西尾 賢隆

古代の土地制度の展開

川端 大介

国語学研究特論 橋本 行洋

禅宗史研究演習3

西尾 賢隆

古代の土地制度の展開

川端 大介

仏教伝来時における人々の受容形態	安藝 瑞穂	太平洋戦争についての一考察	尾身 亮太	宇多天皇との関係からみた菅原道真
岩崎弥太郎の三菱創設	秋山 知也	南京事件について	金子 亮太	日本海軍とミッドウェー海戦
大東亜戦争と戦争画	阿部 健太	『日本靈異記』と景戒	鎌田 千香	幸徳秋水の思想について
戦国大名の山名氏	荒井 大紀	平城京の人びとの生活	川崎 良枝	陰陽寮と土御門家
マッカーサー・天皇会見について	正木 恭平	戦国期畿内の三好氏と摂津国人衆	木下 博文	京都の近代化と疏水事業
瀬戸内海の塩の生産について	宮本 祐樹	戦国期島津 大友の日向をめぐる争い	楠生 剛	原爆投下への道
狩野万屋「悲母観音」	森 貴裕	北野天神信仰の成立	小池 紗耶	長岡京遷都の背景
上杉謙信と川中島合戦について	青木 雄次	遊女の成立とその生活	河野 真波	平安宮の殿舎の変遷
武田信玄について	荒木 将名	青年将校の思想と二・二六事件	小林 美里	紀州雑賀衆について
直江兼統と直江状について	池田 敦志	衆道の研究について	後藤 彩美	日米開戦過程について
美濃鍛冶における関鍛冶の成立と発展について	伊藤 昌隆	戦国時代島津氏について	後藤 将臣	太平洋戦争についての一考察
千利休と茶の湯	稲葉万裕美	幕末土佐藩の動向	坂吉 純子	指導者としての吉田松陰
倭の五王の外交政策	井上 雄介	南京事件についての一考察	澁谷 建治	源義経の最期に関する研究
奥州藤原氏の研究	今井 智史	天正伊賀の乱と福地伊予	白石 敦志	原爆投下について
太平洋戦争開戦への道	上田 尚樹	「応仁の乱」首都京都とその周辺	白砂 敬三	文明開化と制服
石原莞爾と満州事変	太田 佳祐	平安時代の食に関する研究	高田貴美子	国母としての藤原彰子
京都の近代化と西陣織	大年 沙奈	日清戦争の開戦過程	谷口明日樹	関ヶ原合戦と大坂の陣
高杉晋作について	大宮 駿一	源義経の生涯と周辺の人びと	玉置 亜実	学徒出陣と特攻隊について
細川藤孝・忠興父子について	大藪 勝	江戸時代の男色について	長久 一輝	絶対国防圏の形成と崩壊について
前田利家について	岡本 康平	真田氏三代について	中嶋 俊介	宇多天皇と後院
大久保利通政権と士族の反乱	岡本 大輝	日本海軍と終戦工作	中村 真理	伊達氏の出自と奥州征伐
		徳川体制の解体	長田 彰	源実朝の鎌倉幕府における役割
				湧田 裕樹
				野口 達哉
				野戸 大貴
				長谷川夏美
				林 秀樹
				菱田 巧
				福田 真也
				福田 友美
				増田 彩香
				梶平 庸介
				丸橋 亮介
				三原 隆
				宮本 千加
				村岡 亮太
				森口 裕也
				安田 紅美
				矢間 裕基
				山田 大介
				山本 駿平
				吉川 光子
				吉峯 康介

国文学科

歌枕の研究

熊谷 卓也

卒業制作

慣用音に関する研究

坂本 萌

卒業制作

宮沢賢治「銀河鉄道の夜」論 和田 洋子

卒業制作

津田 朋

村上春樹 作品研究

住本 直樹

昔話「猫檀家」の研究

玉置 玄峰

音象徴語の研究

清水 健志

卒業制作

田中 隆広

イラストレーターを描くマンガ作品の研究

竹久 善則

卒業制作

丹羽 利予

創造表現学科

エヴァンゲリオン産業論

藤田 大樹

宇治拾遺物語について

寺田 知未

戦後ギャグマンガの系譜から見る中村光 作品 足立 昂弘

『巨人の星』における飛雄馬の「孤独」

村上 純平

卒業制作

成相 亘佑

アーティスト「大樹」の仮想プロモーション 計画 伊藤 龍太

卒業制作

新井麻衣子

太宰治の『人間失格』論

早藤さおり

ゲームにおいて重要な位置にある声

卒業制作

泉 明日翔

昔話「蛇智入」の研究

陽向 由佳

マンガのメディアアミックスについて 稲本 智哉

卒業制作

磯部沙弥香

竹取物語の研究

藤本 大樹

ノースイースト旅紀行 岩谷 翔平

卒業制作

乾 貴子

夏目漱石の作品について

藤北 侑紀

サスペンス映画研究 大城 光槻

進行中の言語変化の研究

井上 法美

卒業制作

増井 仁美

『ドラゴンボール』の研究 大脇 勇弥

色彩語彙の研究

岩崎 亮太

宇治拾遺物語考

松谷 さち

時をかける少女論 加藤 昌樹

現代の恋愛小説論

上田 昇

『京言葉』の研究

嶺井 優

アームレスリングのトレーニング方法と コーチングへのアプローチ 河内 晴大

卒業制作

小笠原亮太

漢字と訓との関わりについて

村尾 大樹

ウォーキングが心身に与える影響 塩見 亮太

江戸川乱歩の玩具嗜好

鎌倉 千種

卒業制作

村里香菜子

男女新体操競技の歴史と変遷 瀧本 光博

卒業制作

川渕実花子

語の意味衝突と消長・変化

本村 晃一

近年の「日常系」マンガをめぐる考察

卒業制作

岸 明日香

卒業制作

森井 春花

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

安田 将平

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

卒業制作

小山 高介

卒業制作

和佐 麻未

- ボイストレーニングの効果と検証 竹中 基記
 メンタルトレーニングから見る男子新体操 中野 誠雄
 選手の心理特性 野口 勝弘
 21世紀のヤンキー映画 長谷川哲平
 アレックス・シアラー小論 畠山 典子
 アメリカンヒーローと特撮技術 堀下 雄毅
 オリジナルのファッションブランドの
 立ち上げ企画 牧野 未裕
 ピクサーとジブリ 松浦 翔平
 長浜の活性化 松岡 紗希
 メディアミックスにおける派生コンテンツ
 の魅力 本澤 遼
 GOMON研究 山下 恭平
 西尾維新研究 山田 亮介
 男子新体操団体における理想のタンブリング
 テニスの王子様の考察 山中 翔太
 魔法少女研究 山中 巧
 ファッションブランド「earth music&ecology」
 のビジネス戦略とプロモーション計画の研究 山本 涼子
 同人誌即売会に参加する人達 吉岡祐太郎
- ダンスパフォーマンスの創作と提示 吉村 麗
 『ルパン三世』マンガ原作からアニメ原作へ 渡邊 勇太
 中国マンガの発展における問題と未来 汪 央
 文化遺産学科 板谷 聖
 装飾古墳の画像の展開 大井 美樹
 岡本太郎の対極主義と太陽の塔 大坂 幸子
 天神社データベースを用いた歴史的
 地理環境の分析 大西真里菜
 応募と呉春 沖原 聡
 ブリュッゲル作「バベルの塔」について 萩山 愛華
 萬鐵五郎作《女の顔(ポアの女)》からみる
 「新しい女」のイメージ 小田 美香
 樹木信仰 久保 健太郎
 祇園祭にみる傘鉾と六斎念仏の関係について 近藤 無滴
 デジタル言語マップを用いた忌み言葉の
 分布解析 後藤 広美
 特殊器台の研究 後藤 広美
- 伎楽面の形態的分類についての一考察 齋藤 正義
 氏神について 新谷 翔平
 付喪神の形態的特徴について 鈴木恵美子
 幕末〜明治における横浜の地理情報分析 高木 太匡
 遊女の民俗学的考察 谷口 夏保
 福井県向山1号墳の玉類 田原 葉月
 宮城県域における古墳造営と地域社会 千葉 牧子
 地藏信仰の諸相と本質 寺田 諒
 時に関する意識の変遷 戸田 奈月
 インダストリアルデザインとモータリゼー
 ション 中川 光司
 地藏院本堂の建築史的考察 平子 綾香
 鏡に関する一考察 廣瀬 梓
 古墳時代の垂飾付耳飾 廣畑 景子
 厄神について 松井 理
 撰河泉における古代寺院出土瓦の様相 渡邊 拓也
 和時計の形態的分類と特徴について 渡邊めぐみ
 聚光院障壁面の成立年代について 渡邊 祐太

大学院 仏教学専攻

『黄檗外記』とその背景

小林 良幸

黄檗宗の展開と北摂地域

服部 晃承

大学院 日本史学専攻

近代京都における遊興地の研究

伊ヶ崎鷹彦

大燈国師の研究

大江 紹智

調査資料のデジタル化におけるデータベース

作成に関する研究

鹿谷 慧

黒田清輝論

橋本 美保

紀伊における瓦器焼生産の地域性

藤井 亮之

二〇二一年度 学内消息

CDCC (Career Development Center)

教員の異動

- (1) 前中一 晃特任教授が二〇二一年三月末日を以て退任された。
- (2) 中村 樗特任教授が二〇二一年三月末日を以て退任された。
- (3) 立花 吉茂客員教授が二〇二一年三月末日を以て退任された。
- (4) 山本 清文先生が教授として二〇二一年四月一日に就任された。
- (5) 師 茂樹准教授は二〇二一年度も引き続き情報システムセンター長に在任。
- (6) 有 吉淳 一郎准教授は二〇二一年度も引き続きCDCC主任に在任。
- (7) 蘇州大学との交流協定に基づいて赴任していた李東軍講師が二〇二一年三月末日を以て退任し、張龍龍講師が二〇二一年四月一日より就任した。

全体の活動

- (1) 新入生CDCC単位登録指導を四月四日に

実施した。

- (2) フレッシュパーソン・ゼミが全学前期実施となり二年目を迎えた。取り組みの一端として、就職課主催の「キャリア講義と就職課案内」、「キャリア講演会」（五月二三日・六月六日）を開催した。
- (3) 昨年度に引き続き、合田千景共同研究室事務アルバイト（情報ブロック非常勤講師）による初心者パソコン講座が毎週開講された。

各ブロックの活動

英語コミュニケーションブロック

今年度、カルガリー大学での英語研修は、長期研修（八月～一月まで）の参加希望者はなく、短期研修（八月、四週間）のみの実施となった（三名）。英語四技能をバランスよく学べるプログラムになっており、研修後の学生の英語コミュニケーション力は確実に向上していることが見て取れる。さらに、異文化間の理解を深めていく上でも貴重な体験となった。

次年度は長期研修のみ実施される予定。

中国語ブロック

- (1) 二〇一一年一月におこなわれた中国語検定試験において一名が三級に合格した。
- (2) 中国蘇州大学との交流協定にもとづく本学派遣留学生の選考を一月におこない、二〇一二年度の派遣留学生に杉本柚子さん(社会福祉学部一回生)が選ばれた。
- 期間は二〇一二年二月から二〇一三年一月、蘇州大学海外教育学院。

体育ブロック

- (1) 二〇一一年一月二三日に健康運動実践指導者養成講座修了者に対する認定試験を四名受験した。

情報ブロック

- (1) 佐藤田准教授担当の「パーソナルコンピュータ活用技術 A・B」でパソコン検定(P検)の試験が実施された。二〇一一年度の合格者は、P検準二級二名、三級一名であった。

- (2) 師茂樹准教授担当の「情報処理活用論 A・B」において、「情報検定」(文部科学省

後援)の「情報活用試験」の試験が実施された。二〇一一年度の合格者は、二級一名、一級二名であった。

教員の研究活動

衣川賢次教授

〈論文・共著〉

- (1) 『祖堂集』巻七雪峯和尚章譯注(上) 禪文化研究所唐代語録研究班『禪文化研究所紀要』第三一號(一九九〇二八六頁) 二〇一一年三月

〈論文・單著〉

- (1) 『臨濟録』の校訂『第二回日中臨濟宗合同學術シンポジウム』(一七―二六頁) 靈雲院國際禪交流友好協會、上海玉佛寺 二〇一一年九月

〈校訂編集・解説〉

- (1) 入矢義高著『増補求道と悦樂』岩波現代文庫(本文三四〇頁、解説八頁) 二〇一二年一月

〈研究発表〉

- (1) 『臨濟録』の校訂(中國語) 第二回日中臨濟宗合同學術シンポジウム 靈雲院國

際禪交流友好協會、上海玉佛寺共催 中

國上海市玉佛寺、二〇一一年九月八日

- (2) 『臨濟録』のテキスト 禪學研究會花園大學 二〇一一年一月二六日

〈調査〉

- (1) 入矢義高鈴木大拙宛書翰閲覽 鎌倉松ヶ岡文庫、二〇一一年八月一日(鈴木大拙・入矢義高往復書翰「十四通の書翰の整理と解題」として『松ヶ岡文庫研究年報』第二六號(二〇一二年三月)に掲載予定)

佐藤方美教授

〈海外研修〉

- Teacher Training Course
International House, London
(二〇一一年八月)

〈資料収集〉 V. Woolf 関係

- University of Sussex, England
(二〇一一年八月)

Jeff Shore教授

〈著書〉

- (1) Zen Classics for the Modern World:

Translations of Chinese Zen Poems & Prose with Contemporary Commentary (Philadelphia: Diane Publishing, November 2011) 158 pp.

〈論文〉

- (1) "Great Doubt: Getting Stuck & Breaking Through The Real Koan" (『禅学研究』第八九号、二〇一一年二月、一～三十三頁)

- (2) "Enjoying the Way: Translation and Commentary" (『花園大学文学部研究紀要』第四三号、二〇一一年三月、一一三～一四五頁)

〈国際発表表／講演〉

- (1) Retreat Lectures, St. Raphaela Center, Haverford, PA, USA, January 23-27.
- (2) Public Lecture, One Drop/Zendo, Budapest, Hungary, March 2.
- (3) Retreat Lectures (with Hungarian interpretation), Nagykovácsi, Hungary, March 3-6.
- (4) Retreat Lectures, Steyl Priory, Steyl, Holland, March 14-19.

(5) Public Lecture, ZenDoKai, Munich, Germany, March 23.

(6) Retreat Lectures, Seminarhaus/Tannenhol, Buch am Buchrain, Germany, March 25-27.

(7) Retreat Lectures (with Hungarian interpretation), Nagykovácsi, Hungary, August 13-16.

(8) Public Lecture (with Hungarian interpretation), Sárobgárd, Hungary, August 19.

(9) Retreat Lectures, St. Lioba Priory, Egnond, Holland, August 26-30.

(10) Retreat Lectures, IHM (Immaculate Heart of Mary) Spirituality Center, Chester County, PA, USA, September 6-11.

(11) Introductory Talks on Rinzai Zen for Antioch University Study Abroad Program, 卷冊庵、京都, October 3-7.

(12) Introductory Talk on Zen Buddhism for Colgate University Study Abroad Program, 卷冊庵、京都, November

5.

(13) "Living Zen" lecture for Morikami Museum, Southern Florida, November 18.

(14) "Lotus's Flower Sermon" lecture and book signing, University of Pennsylvania, November 21.

(15) Retreat lectures (with Hungarian interpretation), Nagykovácsi, Hungary, December 27-29.

八木晃介教授

〈著書(単著)〉

- (1) 『優生思想と健康幻想——薬あればとび毒をうのみくからず』批評社、二〇一一年七月、全二六〇頁

〈論文(単著)〉

- (1) 「消える老人・消される老人」(『社会臨床雑誌』第十八巻第三号、二〇一一年二月、日本社会臨床学会、二～二二頁)
- (2) 「老くの可能性とエイジズム」(『人権教育研究』第十九号、二〇一一年三月、花園大学人権教育研究センター、三五～五四頁)

(3) 「どこまでが〈健康〉なのか」(『部落解放』二〇一二年一月号、二〇一一年十二月、解放出版社、三二〜三八頁)

(4) 「親鸞思想と優生思想」(『Niche』第二七号、二〇一二年一月、批評社、六〜九頁)

〈その他〉

(1) 「それでも原発なのか」(『ゆきわたり』第四三七号、二〇一一年十月、子ども問題研究会、一九〜二〇頁)

〈その他の活動〉

日本社会臨床学会運営委員、全国大学同和教育研究協議会副会長、大阪府箕面市人権教育推進会議会長、個人紙『試行社通信』(月刊) 発行人など

山中高光教授

〈論文〉

(1) 「世界経済危機後の東アジアの均衡とれた成長へ向けて」(『アジア市場経済学会年報』第一四号、二〇一一年六月)

〈研究発表〉

(1) 「経済連携と消費者保護」(日本消費経

済学会第三六回全国大会、日本大学商学部、二〇一一年十月九日)

山本清文教授

〈論文(共著)〉

(1) 「バスケットボールにおけるストレッティング効果測定及び考察 山本清文式理論を取り入れて」(山本清文・山田雅敏・井口睦仁・眞鍋和親、『浜松大学健康プロデュース雑誌』第五巻第一号、二〇一一年三月、五九〜七二)

(2) 「男子新体操選手におけるスポーツ外傷・傷害の実態についての研究」(野田光太郎・山本清文・松久ミユキ、『花園大学文学部研究紀要』第四三号、二〇一一年三月一〇日、五三〜六九頁)

(3) 「フィットネス・ポールエクササイズの効果」(池田雅彦・易強・中田幸次郎・水野進二・村上佳司・山本清文、『富士常葉大学研究紀要』第一二号二〇一二年三月、一五七〜一六四頁)

〈講演など〉

(1) 健康運動指導士養成講習会 講師(主催・

財団法人健康・体力づくり事業財団、二〇一一年一月二日、愛知学院大学)

(2) 健康運動指導士養成講習会 講師(主催・財団法人健康・体力づくり事業財団、二〇一一年一月二五日、大阪YMCA国際文化センター)

(3) 教員免許更新講習会 講師(体づくり運動、二〇一一年八月五日、浜松大学)

(4) スポーツ模範演技会 講師(二〇一一年一月一八日、愛知県立小坂井高等学校)

(5) 右京区制八〇周年事業 ぐるりん(京北講師(二〇一一年一月一二日、京都市右京区)

吉村俊子教授

〈研究発表〉

(1) 「Tackling the Crisis in Japan's English Classrooms through Effective English Teaching」(共)(世界応用言語学会(AILA) 北京大会、北京外国語大学、二〇一一年八月)

(2) 「文学教材作成の報告…実践的スキル養成への可能性」(共)(大学英语教育学会

(JACET) 第五〇回記念国際大会、
西南学院大学、二〇一一年八月)

(3) 「大学英語教育を活性化するための4つ

の試み」(共) (JACET 関西支部文学
教育研究会十月例会、同志社大学)

〈学会への参加〉

(1) 大学英語教育学会 (JACET)、関西

支部春季大会 (同志社大学、二〇一一年
六月)

(2) 第1回世界多読学会 (京都産業大学、二
〇一一年九月)

(3) 大学英語教育学会 (JACET) 関西支
部四〇周年記念大会 (武庫川女子大学、
二〇一一年十一月)

〈学会活動〉

大学英語教育学会 (JACET) 関西支
部企画委員

有吉淳一郎准教授

〈学会参加〉

(1) 福岡認知言語学会 (西南学院大学、九月

一〇日)

(2) JACET 英語語彙研究会 (麗澤大学、

十二月一〇日)

師茂樹准教授

〈論文(単著)〉

(1) 「異なる文献間の数理的な比較研究をふ
り返る」(「文字と非文字のアーカイブズ
/ モデルを使った文献研究」、二〇一一年

二月、三二〜三八頁、査読なし)

(2) 「資料紹介」漢字出現頻度数調査」(「論
集文字」一号、二〇一一年五月、「電子
書籍」、査読なし)

(3) 「研究ノート」中国古典戯曲研究のた
めの音韻表示システム MediaWikiでの
実装の試み」(「漢字文献情報処理研究」

一一、二〇一一年十月、一三〜一六頁、
査読あり)

〈論文(共著)〉

(1) 松田隆行・明珍健二・師茂樹・福島恒徳・

青江智洋・江藤弥生「下京・梅忠町の家
屋敷景観の復元および家督相続の実証的
研究」(「花園大学文学部研究紀要」四三、
二〇一一年三月、一〜二八頁、査読なし)

(2) 三谷真澄・橘堂晃一・芳澤勝弘・師茂樹

「花園大学・龍谷大学ジョイントセッシ
ョン 仏教資料のデジタル化と公開・活
用をめぐる」(「じんもんこん2011
論文集」、二〇一一年一二月、三三五〜
三三八頁、査読なし)

〈翻訳〉

(1) Eli Franco 「玄奘による観念論

(vijñānatrāta) の証明」(「花園大学
文学部研究紀要」四三、二〇一一年三月、
八七〜一二二頁、査読なし)

〈その他著作(単著)〉

(1) 「文字と仏教② 阿頼耶識を誤読してみ
る」(「春秋」五二七、二〇一一年四月、
二二二〜二六頁)

(2) 「文字と仏教③ アンチ・アンチコスモ
ス」(「春秋」五二八、二〇一一年五月、
二二二〜二四頁)

(3) 「文字と仏教④ 文字は人間が作ったも
のではない、ということ」(「春秋」五三
一、二〇一一年八月、二〇〜二三頁)

(4) 「文字と仏教⑤ 全世界計算システムか
ら生まれる生命」(「春秋」五三二、二〇
一一年十月、二〇〜二三頁)

(5) 「なかなか変わらない世界 Digital Poetry」(寄せ)、「ユリイカ」二〇一一年十月号、青土社、二二七～二二三頁)

(6) 「『初年次教育向けテキスト』企画案」『ソフトウェアレビュー Mac OS X Lion』
「ソフトウェアレビュー Microsoft Office for Mac 2011」『漢字文献情報処理研究』二二、二〇一一年十月)

〈研究発表(単独)〉

(1) 「異なる文献間の数理的な比較研究をふり返る」(公開シンポジウム「文字と非文字のアーカイブズ／モデルを使った文献研究」、二〇一一年二月一日、京都大学人文科学研究所)

(2) 「花園大学の学生FD」(現状と課題)「(第一七回大学教育研究フォーラム、二〇一一年三月一日、京都大学)

(3) 「占察経の成立と受容」なぜ占いが必要とされたのか(日本佛教学会二〇一一年度学術大会、二〇一一年八月三日、北海道大学)

(4) 「新羅・真表伝の再検討」(第六二回佛教学会学術大会、二〇一一年十一月一日、花園大学)

二日、花園大学)

(5) 「人文系情報処理教育におけるPBL実践の可能性」(漢字文献情報処理研究会第一四回大会・科学研究費補助金基盤研究(B)「情報化時代における中国学次世代デジタル研究基盤の確立」ジョイントセッション、二〇一一年二月一日、花園大学)

〈研究発表(共同)〉

(1) 三谷真澄・橋堂晃一・芳澤勝弘・師茂樹「仏教資料のデジタル化と公開・活用をめぐって」(人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2011」二〇一一年二月一日、龍谷大学大宮キャンパス
講演など)

(1) 「京都の律宗寺院」(京都学講座)京都案内の歴史学―各所で見つけた歴史秘話―、二〇一一年四月一六日、SBS学苑
浜松/サールナートホール)

〈研究助成による研究〉

(1) 平成二三年度・日本学術振興会・科学研究費補助金・若手研究(B)「東アジア

仏教論理学史研究のための逸文データベースの構築」(課題番号二〇七二二〇一三三、研究代表者・師茂樹)

(2) 平成二三年度・日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究(B)「中国古典戯曲総合データベースの応用的研究」(課題番号二〇五二〇三三八、研究代表者・千田大介(慶應義塾大学))

(3) 平成二三年度・日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究(B)「形態素解析のための品詞情報つき古典漢文コーパスの構築」(課題番号二二三〇〇八七、研究代表者・安岡孝一(京都大学))

(4) 平成二三年度・日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究(B)「中国学次世代デジタル研究基盤の確立」(課題番号二二三三二〇一〇、研究代表者・二階堂善弘(関西大学))

(5) 「安土城VR用コンテンツ作成に関する研究」(近江八幡市、二〇一一年度)

〈学外での研究活動・社会活動〉

(1) 京都大学人文科学研究所・共同研究班「東アジア古典文献コーパスの研究」

(2) I V S 技術促進協議会 エキスパート会 員

(3) 角倉研究プロジェクト研究会 (代表・森 洋久 (国際日本文化研究センター))

(主な学会活動)

(1) 漢字文献情報処理研究会 代表

(2) 人文科学とコンピュータシンポジウム 「じんもんこん2011」実行委員

(3) 南都文化研究組織 事務局

(4) 佛敎史学会 委員

(5) 文字研究会 幹事

国際禪学科

スタッフの異動

二〇一一年度の学科主任には吉田叡禮准教授が就任。

西尾賢隆特任教授が今年度をもって御退職。

学科活動

二〇一一年度(平成二三)年度第六十二回「佛敎史学会学術大会」が、十一月十二日(土)午前一〇時から本学拈花館で開催された。

午前は東洋部会と日本部会、午後は合同部会で各々研究発表が行われ、その後、記念講演、会員総会、懇親会が催された。

二〇一一年度(平成二三)年度第八十二回「禅学研究会学術大会」は、十一月二十六日(土)午後一時より本学栽松館三階大会議室で開催された。本学教員や各関係研究機関から多数のご発表、ご参加があり、活発な議論が展開された。報告者と発表題目は以下のとおりである。

①「鎌倉期禅僧の葬送と霊骨器―建長寺塔頭からの発見事例を通して―」大本山建長寺研究員 館隆志

②「浄影寺慧遠における滅尽定と識論」恵泉女学園大学非常勤講師 岡本一平

③「菩提達摩の二入四行論とその素材―菩提達摩と菩提流支―」花園大学非常勤講師 大竹晋

④「泉涌寺と南宋仏敎の人的交流」泉涌寺宝物館学芸員 西谷功

⑤「石頭一枝―夾山善会一門の思想と祖師の形成」東北大学大学院准教授 齋藤智寛

⑥「大逆事件と仏敎」花園大学教授 中尾良信

⑦「臨済録テクストの系譜」花園大学教授 衣川賢次

⑧「大峽秀榮独語訳『ZEN』と洞山五位偏正口訣」四天王寺大学名誉教授 木村俊彦

臨済宗妙心寺派東京禅センター「花園大学仏敎講座」で行われた本学教員および元教員による講座タイトルは次の如くである。

一月十五日 竹貫元勝「宗峰妙超」

野口善敬「黄檗禅の原点―密雲円悟」
四月十六日 西村恵信「鈴木大拙の原風景」

吉田叡禮「澄観の華嚴学と禅」
六月十八日

中島志郎「龍樹と『中論』」
竹貫元勝「古溪宗陳」

十一月十九日 中尾良信「法燈国師無本覚心」

西尾賢隆「笑隠大詠と蒲室疏法」
一月二十一日

安永祖堂「不干斎ファビアン」

野口善敬「大慧宗杲」

そのほか、臨濟禪師一一五〇年遠諱・白隠禪師二五〇年遠諱 両遠諱大法会事業専門委員会が発足され、当学科は「学術出版・シンポジウム部会」を担当することとなった。

また、臨濟宗妙心寺派共同研究助成により、次のテーマで学科共同研究を開始。

(1) 「禪的社会活動の研究」

(2) 「WEB版涅槃図解説プロジェクト」

教員の研究活動

佐々木閑教授

〈著書〉

① 『「律」に学ぶ生き方の智慧』新潮選書

一九〇頁、二〇一一年四月

② 『ブッダ 真理のことば』(NHK出版)

一一二頁、二〇一一年八月

〈論文〉

① 「『婆沙論』の構造分析における留意点」、

『印度学仏教学研究』第五九巻第一号、

二〇一一年三月、九一一(一六四)頁

九〇三(一七二)頁

② 「律藏の中のアディカラナ四(一)」「仏教研究」第三九巻、二〇一一年三月、一

二七頁～一五四頁

③ 「大乘仏教起源論の展望」、『シリーズ大乘仏教(二)大乘仏教とは何か』、春秋社、

二〇一一年六月、七三頁～一一二頁

④ 「波羅夷罪の成立史的考察 比丘の波羅夷第四条」、『印度学仏教学研究』、第六

〇巻第一号、二〇一一年二月、三四七

(二二二)頁～三三九(二二〇)頁

〈雑文〉

① 「原始教典の言葉」、『二個人仏陀の言葉』、

KKベストセラーズ、二〇一一年三月、

四四頁～五七頁

〈口頭発表・講演〉

① 二〇一一年三月二五日、千里ライフサイエンスフォーラムにおいて国立遺伝学研究所の斎藤成也教授と対談。演題は「対

談、科学と仏教の対話 — 生命観をめぐ

って—」

② 二〇一一年四月一五日～一七日、カナダ

トロントにおいて、マクマスター大学、

トロント大学、沼田仏教研究プログラム

共催の学会 [Buddhist Nuns in India]

に参加し、研究発表。タイトルは「An

Analytical Study of the Bhikṣuṇī

Parājita rules in the Vinayasī」

③ 二〇一一年五月二一日、東京大学で開催

された「パリー学仏教文化学会」記念シ

ンポジウムにおいて、コメンテーターと

して発表。

④ 二〇一一年五月二八日、東京世田谷龍雲

寺本堂において「科学と仏教の接点」公

開講座第六回を開催。物理学者湯川哲之

氏、生物学者斎藤成也氏と三時間半のト

ークセッション。タイトルは「宇宙の起

源、生命の起源、そしてヒトの起源・パ

ート2」

⑤ 二〇一一年六月三日、同志社大学においてKIGURUSチエーンレクチャー講義「オ

ウム真理教の暴力性」

⑥ 二〇一一年六月一七日、東京京王プラザ

ホテルで開催された「日本老年医学会」

において特別講演。演題は「老いること

の豊かさについて」

⑦二〇一一年六月二〇日～二二日、台湾法

鼓山の仏教大会で開催された第一六回
International Association of Buddhist
Studies 学術大会に参加し、研究発表。

タイトルは「An Analytical Study of the
First Parajika Rule for the Monk」

⑧二〇一一年六月二五日、龍谷大学で開催
されたREBT学会において基調講演。演
題は「現代における仏教的生活」

⑨二〇一一年七月一〇日、東京紀伊國屋新
宿南店内サザンシアターにおいて、岩崎
夏海氏と対談。演題は「釈迦とドラック
ー」

⑩二〇一一年八月二五日～二六日、天竜寺
塔頭永明院において、若手禅僧のための
講習会「パーテイモッカ研究会」講師

⑪二〇一一年九月七日～八日、龍谷大学大
宮学舎で開催された日本印度学仏教学会
学術大会に参加、研究発表。タイトルは
「波羅夷罪の成立史的考察、比丘の波羅
夷第四条」

⑫二〇一一年九月一六日、東京増上寺にお
いて講演。演題は「大乘の仏と菩薩」

⑬二〇一一年一〇月一日、東京大学駒場キ

ャンパス、数理科学研究棟において「科
学と仏教の接点Ⅶ」を開催。物理学者で
東工大教授の細谷晔夫氏と三時間のト
ークセッション。タイトルは「この世で一
番不思議な話、量子論の世界観」

⑭二〇一一年一月一八日、京都大学大
院医学研究科において講演。演題は「心
の医療としての仏教」

⑮二〇一一年二月一日、仏教大学仏教
学会において講演。演題は「律藏の現代
的意味」

〈その他の活動〉

①二〇一一年九月の各水曜日午後一〇時か
ら一〇時二五分、NHKのEテレ「一〇
〇分de名著」『ブツダ 真理のこぼれ』
に解説役で出演

中尾良信教授

〈論文〉

①「達磨宗の展開と禅籍開版」『古代中世
日本の内なる「禅」』勉誠社 五月三十
一日

②「在宅型ホスピスの可能性と宗教の関わ

り方(きぼうのいえ)聞き取り調査を踏
まえて―『人権教育研究』第二〇号 二
〇一二年三月発行予定

〈学会参加〉

①日本佛教学会学術大会 北海道大学 八
月三十一～三十一日

②仏教史学会 花園大学 十一月十二日
〈学会発表〉

①「大逆事件と仏教」、十一月二十六日、
第八十二回「禅学研究会学術大会」、花
園大学

中島志郎教授

〈著作共著〉

①「道元の正伝仏法と禅宗批判」、『日本仏
教史研究』第四号(東国大学 日本仏教
史研究室)、一二七頁～一四六頁

②「日本公案禅 白隠禅の原理と構造」、『看
話禅 その原理と構造』(韓第二回看話
禅国際学術大会、国ソウル 東国大学 仏
教学術院総合研究室) 四九頁～九九頁
〈口頭発表〉

① 「日本公案禪 白隠禪の原理と構造」、

第二回看話禪国際学術大会「看話禪 その原理と構造」韓国ソウル、東国大学、

仏教学術院総合研究室、二〇一一年八月

二一日

〈論文発表〉

① 「知訥と道元―13世紀東アジアの禪―」

十二月二十三日、韓国ソウル 東国大学
仏教文化研究院

安永祖堂教授

〈著作〉

① 「喫茶養生記を読むⅠ」『茶道雑誌』第

三号、四十頁～四十七頁、河原書店 二

〇一一年三月一日

② 「喫茶養生記を読むⅡ」『茶道雑誌』第

五号、四十六頁～五十四頁、河原書店、

二〇一一年五月一日

③ 「喫茶養生記を読むⅢ」『茶道雑誌』第

七号、四十二頁～四十七頁、河原書店、

二〇一一年七月一日

④ 「喫茶養生記を読むⅣ」『茶道雑誌』第

九号、十九頁～四十六頁、河原書店、〇

一一年九月一日

⑤ 「喫茶養生記を読むⅤ」『茶道雑誌』第

十一号、三十三頁～四十頁、河原書店、

二〇一一年十一月一日

⑥ 「喫茶養生記を読むⅥ」『茶道雑誌』第

十三号、十二頁～四十八頁、河原書店、

二〇一二年一月一日

⑦ 「一日作さざれば一日食らわず」『法光

二百四十八号 一頁～七頁、臨済会、二

〇一一年八月一日

⑧ 「笑う禅僧―悩み、答えよ」『MIT』

三百八十二号 十六頁～十九頁、SMB

Cコンサルティング、二〇一一年八月十

日

〈講演〉

① 「笑う禅僧」、SMBCCコンサルティング

グ経営者懇話会、大阪銀行会館、二月四

日

② 「禅を語るといふこと」、臨済宗連合各

派布教団講習会、天龍寺、二月二十六日

③ 「むつかしいことをやさしく」、第六回

特別住職学布教研修会、天龍寺、六月二

日

④ 「語らざれば愁い無きに似たり」三井住

友経営者倶楽部講演会、東京全電通ホー
ル、六月八日

⑤ 「臨済録を読むⅠ」妙心寺派布教師講習

会、妙心寺、六月二十・二十一日

⑥ 「禅に学ぶ心の教え」龍光寺施餓鬼会法

話の集い、龍光寺、七月七日

⑦ 「大いなる命に活かされて」立正佼成会

孟蘭盆会講演会、立正佼成会中野教会、
七月十日

⑧ 「臨済録を読むⅡ」妙心寺派布教師講習

会、妙心寺、十二月五日・六日

⑨ 「おもしろ京都学入門」京都新聞市民講

座、佛科大学四条センター、十二月九日

〈学会活動〉

東西宗教交流学会理事（事務局担当）、

二〇一二年九月五日まで（任期三年）

〈その他〉

京都新聞社報道審議委員、二〇一三年六

月一日まで（任期二年）

NHKカルチャーセンター京都教室「坐

禅入門」出講、毎月第二金曜日

吉田毅禮准教授

〈著書〉

- ① 『新国訳大藏経 中国撰述部①』— 華嚴宗部』、『法界玄鏡』、大蔵出版、二〇一一年五月二〇日、一九九頁〜三三三頁

〈講演〉

- ① 「くりかえすことの大切さ」、洛西生涯学習センター、二〇一二年五月一日
- ② 「宗教系大学の学生による災害復興支援」・花園大学と仏教者の取り組み」、宗教者災害支援連絡会、東京大学仏教青年会、一月九日
- ③ 「澄観の華嚴学と禅」、臨済宗妙心寺派東京禅センター「花園大学仏教講座」、龍雲寺、二〇一二年四月十六日
- ④ 「中国仏教史」、花園会夏季講座仏教史Ⅲ、二〇一一年八月二七日
- ⑤ 「仏教学基礎」、掛搭前学習会、臨済宗妙心寺派、二〇一一年九月六日
- ⑥ 「祈りの形—宗教者災害救援ネットワークの活動から考える」、 「仏教文化とコンピュータ」2011—祈りと安寧の年・京都—食らう度と情報デザインと仏

教文化」第二部「現代社会と「祈りと安

寧の都市」、京都大学百周年時計台記念

館交流ホール1、二〇一一年一〇月二〇日

- ⑦ 「華嚴文化の潮流」コディネーター「第十回 The Great Buddha Symposium」、

東大寺総合文化センター、十二月十日・十一日

- ⑧ 「社会にはたらきかける仏教」、臨済宗妙心寺派宗教チーム、花園中学、二〇一二年二月一日

- ⑨ 「第八回 臨黄教化研究会」、パネリスト、二〇一二年二月二十四日

〈学大会活動〉

- ① 「佛教史学会」大会実行委員
- ② 「二十一世紀の智と実践フォーラム」大会実行委員
- ③ 「京都宗教系大学院連合」評議員

〈その他の活動〉

- ① 「臨済禅師二一五〇年遠諱・白隠禅師二五〇年遠諱 両遠諱大法会事業専門委員（学術出版・シンポジウム部会）」に委嘱される（十月五日付）

② 「宗教者災害支援連絡会」情報交換会に

参加・報告、東京大学仏教青年会、五月二十二日、一月九日

- ③ 「二十一世紀の智と実践フォーラム」に参加・実行委員長として活動、十月二十九日・三十日、吉野山竹林院

- ④ 「第六十二回、佛教史学会学術大会」に参加・実行委員副主任として活動、十一月十二日（土）

- ⑤ 「第十回The Great Buddha Symposium」においてシンポジウムコディネーターを担当、東大寺総合文化センター、十二月十日・十一日

- ⑥ 「花園大学・花園禅塾・臨済宗妙心寺派東日本災害復興支援ボランティア」に参加引率、五月一日〜七日（岩手県大槌町）、八月一日〜八月六日（岩手県大槌町）、「花園大学東日本災害復興支援ボランティア」を引率、十一月十九日〜二十三日（宮城県七ヶ浜町・同塩竈市）。

- ⑦ 「WEB版涅槃図解説」を臨黄合議所のホームページに公開、一月十九日

日本史学科

スタッフの異動

中野渡俊治専任講師は、二〇一一年四月一日より、准教授に昇進された。

松田隆行准教授は、引き続き日本史学科主任・花園大学史学会会長に在任されている。

花園大学史学会大会

二〇一一（平成二三）年度、第三一回花園大学史学会大会および総会は、一月一日（土）午後一時から本学無聖館ホールで開催された。研究発表・特別講演・記念講演・総会に引き続き懇親会が催された。

【研究発表】

東野 鈴奈（花園大学歴史博物館研究員）

「羅漢図の様式規範——大心院系羅漢図を中心に——」

林 祐一郎（花園大学歴史博物館研究員）

「瀟湘八景の絵面史——その受容と展開——」

【特別講演】

堤 美智子（花園大学文学部日本史学科教授）

「製本から見た洋本と和本」

【記念講演】

廣庭 基介（花園大学文学部日本史学科客員教授）

「神仏習合と神仏分離の痕跡を石造物に見る」

新入生学外オリエンテーション

二〇一一年度の日本史学科・文化遺産学科新入生の学外オリエンテーションを四月四・五日に実施した。

参加教職員は、芳井敬郎、鈴木康子、明珍健二、福島恒徳、高橋克壽の各教授、松田隆行、中野渡俊治の各准教授、後藤真専任講師、図書館司書課程の堤美智子教授、学生課の上田由紀恵課員および日本史学科の中尾光一事務助手、文化遺産学科の青江智洋事務助手である。

史跡見学のコースは、次の通りである。

【巡検コース】

四月五日（火）

花園大学——関ヶ原古戦場——岐阜市歴史博物館——岐阜グランドホテル（宿泊）

四月六日（水）

ホテル出発——川合考古資料館——博物館明治村——花園大学

各ゼミの活動

〈古代史ゼミ〉 中野渡俊治准教授）

高取城跡・壺阪寺見学（情報歴史学ゼミと合同） 四月三〇日

京都御所一般公開見学 一月一日
平城宮跡・奈良国立博物館（正倉院展）

見学 一月一二日

〈近世史ゼミ〉 鈴木康子教授）

三・四回生合同ゼミ合宿「出雲・松江・境港方面」五月九〜一〇日

教員の研究活動

竹貫元勝教授

〈論文その他〉

「禅僧の略伝——休宗純——」『淡交』第六
五卷第一号（淡交社）平成二三年一月一日

「禅僧の略伝——古嶽宗豆——」『淡交』第六

五卷第二号、(淡交社) 平成二三年二月一日

日

「禅僧の略伝―春浦宗熙―」『淡交』第六

五卷第三号、(淡交社) 平成二三年三月一日

日

「禅僧の略伝―春屋宗園―」『淡交』第六

五卷第四号、(淡交社) 平成二三年四月一日

日

「禅僧の略伝―古溪宗陳―」『淡交』第六

五卷第五号、(淡交社) 平成二三年五月一日

日

「臨済宗の法灯と文化」『アジア遊学―四

二―古代中世日本の内なる「禅」―』(勉誠出版) 平成二三年五月三十一日

「禅僧の略伝―沢庵宗彭―」『淡交』第六

五卷第六号、(淡交社) 平成二三年六月一日

「禅僧の略伝―清巖宗渭―」『淡交』第六

五卷第七号、(淡交社) 平成二三年七月一日

日

「禅僧の略伝―玉室宗珀・玉舟宗璠―」『淡交』第六

五卷第八号、(淡交社) 平成二三年八月一日

日

「禅僧の略伝―白隠慧鶴―」『淡交』第六

五卷第九号、(淡交社) 平成二三年九月一日

日

「禅僧の略伝―伝心宗的―」『淡交』第六

五卷第一〇号、(淡交社) 平成二三年一〇月一日

日

「禅僧の略伝―十八世紀の大徳寺僧―」

『淡交』第六五卷第一号、(淡交社) 平成二三年一二月一日

日

「禅僧の略伝―牧宗宗寿と円山要宗―」

『淡交』第六五卷第一二号、(淡交社) 平成二三年一二月一日

日

「黒衣の宰相 以心崇伝」歴史文化講座、

於京都会馆、平成二三年九月三日 他

鈴木康子教授

〈論文〉

共著「日蘭貿易の黄金時代」『平戸―海外に開かれた自由都市―』平戸市教育委員会 二〇一一年三月 三〇―三五頁

単著「近世長崎の外来動物 麝香鼠について」『九州史学』第一六〇号 二〇一一年一〇月 二一―三四頁

廣庭基介客員教授

〈講演〉

「江戸時代 庶民の読書―京にもあった貸本屋」(京都市生涯学習総合センター・

京都アスニー ゴールデン・エイジ・アカ

デミー) 伝えよう次世代へ学びのまち京都

の伝統 ―子ども読書の日によせて―」二〇一一年四月一八日)

「私が敬愛した明治生まれの古老司書達と京都図書館協会青年部・大学図書館問題研究会・貸本文化研究会の仲間達」(医学情報サービズ研究会第二八回研究大会 基調講演 二〇一一年七月二四日)

「神仏習合と神仏分離の痕跡を石造物に見る」(第三一回花園大学史学会大会 記念講演 二〇一一年一月一九日)

「社会活動」

鉄道写真真展「京都を走った市電・蒸気機関車、廣庭基介・福田静二二人展」日時・

二〇一一年二月一日～三〇日。午前二時～午後六時(木曜日休室) 会場・集西楽

サカタニ二階ギャラリー及び喫茶室。

堤美智子教授

〈講演〉

「製本から見た洋本と和本」(第三回花園大学史学会大会 特別講演 二〇一一年一月一九日)

〈社会活動〉

「日本文化としてのルリユール・ダール」展 二〇一一年二月二八日(月) (三月一〇日(木) 於京都芸術センター。京都・工藝製本研究会のメンバーとして京都芸術センターと共催)

松田隆行准教授

〈論文〉

共著「下京・梅忠町の家屋敷景観の復元および家督相続の実証的研究」(『花園大学文学部研究紀要』第四三号、二〇一一年) 「大正天皇の『御大典』と地域社会」(天皇の即位儀礼と国民統合) (『花園史学』第三二号、二〇一一年)

〈社会的活動〉

京都新聞文化センター「古文書入門」講座講師

中野渡俊治准教授

〈論文〉

「古代日本における公卿上表と皇位」(三田史学会『史学』第八〇巻一号、二〇一一年三月一八日)

〈その他〉

「紀元二千六百年奉祝音楽会とその楽譜」(花園大学史学会『花園史学』第三二号、二〇一一年一月一〇日)

〈研究報告・その他〉

「後宮組織と内侍司の意思伝達」(日本史研究会古代史部会、二〇一一年五月三〇日)

「平安貴族と夏」(洛西花園幼稚園生涯学習センター、二〇一一年六月八日)

「小朝拜小考」(三田古代史研究会、二〇一一年九月二四日)

「長岡京研究の現状」(花園大学教員免許状更新講習、二〇一一年二月一〇日)

松田敬之専任講師

〈講演〉

「近世公家・近代華族社会を生きた人々―次三男・女性たちを中心に―」(京都市生涯学習総合センター・京都アスニー・ゴールデン・エイジ・アカデミー「京都歴史回廊文化塾 京都を創った人、京都に魅せられた人」平成二三年三月一八日)

「近代華族社会と禅宗―近世公家社会とのつながり―」(花園会夏季講座、於花園大学 平成二三年八月二七日)

〈口頭報告〉

「報告 関西大学総合図書館所蔵『拾葉畧記』の紹介・その他」(平成二二年度二五年度科学研究費補助金基盤研究「近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究」研究会、於東京大学史料編纂所 平成二三年九月五日)

〈学術活動〉

「近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究」(平成二二年度二五年度科学研究費補助金基盤研究 (B) 研究代表者・東京大学史料編纂所助教松澤克行) 研究分担者

文化遺産学科

スタッフの異動

明珍健二准教授は、二〇一一年四月一日より、教授に昇進された。

芳井敬郎教授は、引き続き副学長・企画広報部長・花園大学歴史博物館長に在任されている。

福島恒徳教授は、引き続き文化遺産学科主任に在任されている。

花園大学史学会大会

二〇一一（平成二三）年度、第三一回花園大学史学会大会および総会は、一月一日（土）午後一時から本学無聖館ホールで開催された。研究発表・特別講演・記念講演・総会に引き続き懇親会が催された。

研究発表・特別講演・記念講演は次の通りである。

【研究発表】

東野 鈴奈（花園大学歴史博物館研究員）

「羅漢図の様式規範——大心院系羅漢図を中心に——」

林 祐一郎（花園大学歴史博物館研究員）

「瀟湘八景の絵画史——その受容と展開——」

【特別講演】

堤 美智子（花園大学文学部日本史学科教

授）

「製本から見た洋本と和本」

【記念講演】

廣庭 基介（花園大学文学部日本史学科客

員教授）

「神仏習合と神仏分離の痕跡を石造物に見る」

新入生学外オリエンテーション

二〇一一年度の日本史学科・文化遺産学科新入生の学外オリエンテーションを四月四・五日に実施した。

参加教職員は、芳井敬郎、鈴木康子、明

珍健二、福島恒徳、高橋克壽の各教授、松田隆行、中野渡俊治の各准教授、後藤真事

任講師、図書館司書課程の堤美智子教授、

学生課の上田由紀恵課員および日本史学科の中尾光一事務助手、文化遺産学科の青江

智洋事務助手である。

史跡見学のコースは、次の通りである。

【巡検コース】

四月五日（火）

花園大学—関ヶ原古戦場—岐阜市歴史博

物館—岐阜県グランドホテル（宿泊）

四月六日（水）

ホテル出発—川合考古資料館—博物館明

治村—花園大学

花園大学歴史博物館の活動

【展覧会】

二〇一一年度春季企画展「狩野派の絵画—

—」を、二〇一一一年三月三十一日（木）か

ら六月四日（土）にかけて開催した（協力：枳米菴、妙心寺大法院、麟祥院、担当：福

高恒徳教授・花園大学歴史博物館副館長、志水一行同館研究員、山口洋子同館研究員）。

狩野永徳の弟子・狩野山楽（一五五九—一六三五）に始まる京狩野は、江戸時代を

通じて京都に拠点を置いて活躍した狩野派

の一派である。永徳の画風を受け継いだ初

代・山楽、幾何学的構図を得意とした二代・

山雪（一五九〇—一六五二）など、狩野探

幽（一六〇二〜七四）が創始した江戸狩野派とは一線を画す独特な画風の作品を描いている。

個人的な初期京狩野の絵師たちに対し、五代・永伯（一六八七〜一七六四）以後、幕末に九代・永岳（一七九〇〜一八六七）が登場するまで、京狩野はやや衰退してしまふ。奇矯な形態感覚と復古的画風の永岳のみ早くから注目されていたが、低迷期および永岳を継ぐ永祥以降の京狩野については、現在まで大きく取り上げられることはなかった。

本展では、枅米菴コレクションや妙心寺塔頭の大法院・麟祥院に蔵される作品を中心として、知られざる京狩野の絵師を紹介した。また狩野探幽や京都で活躍した江戸狩野派に連なる鶴澤派の作品もあわせて展観した。いまだ知られざる、謎多き京狩野の魅力を堪能していただけるよう工夫した。

二〇一一年度秋季企画展「遂翁元廬―禪画と墨蹟 丈山文庫・永明寺所蔵作品―」を二〇一一年十月三日（月）〜十二月二十日（火）にかけて開催した（主催…花園大

学歴史博物館、助禪文化研究所、協力…丈山文庫（静岡県）、永明寺（静岡県）、担当…福島恒徳教授・花園大学歴史博物館副館長、志水一行同館研究員、山口洋子同館研究員、林祐一郎同館研究員）。

ユーモア溢れる禪画により、世界的に注目を集めている白隠慧鶴（一六八五〜一七六八）。近年、人々を魅了する禪画は白隠画だけにとどまらず、白隠の弟子たちによって受け継がれた禪画にも目が向けられている。

白隠下において、その筆頭にあつたのが、東嶺圓慈（一七二一〜九二）と遂翁元廬（一七一一〜八九）。東嶺と遂翁の禪風は「微細東嶺、大器遂翁」と評されているが、二人の禪画にはその禪風と相反する個性がみられる。東嶺の禪画は大胆な筆遣いによる豪放さが特徴であるのに対し、遂翁の禪画には白隠画を勤直に学ぼうとする姿勢があらわれている。

本展では、丈山文庫および永明寺に蔵される遂翁の禪画・墨蹟を展観した。白隠からその弟子遂翁に受け継がれた禪画の魅力

を堪能していただくとともに、また遂翁の作品を通して師の禪風に触れていただけるよう工夫した。

【式典】

花園大学歴史博物館開館十周年記念式典を二〇一一年三月三十日（水）午後六時から京都ホテルオークラで開催した。

式次第は次の通りである。

- 一、報告「歴史博物館十年の歩み」
- 一、祝賀会

各ゼミの活動

〈民俗学ゼミ 芳井敬郎教授〉

二〇一一年二月二七日〜二八日 三・四回生合同研修旅行実施。参加者は二〇名。
鳥根県出雲大社・鳥根県立古代出雲歴史博物館・出雲文化伝承館・八重垣神社・水木しげるの妖怪ワールド等を見学・参拝した。

〈考古学ゼミ 高橋克壽教授〉

「ゼミ旅行」二〇一一年三月八日〜一〇日 福岡

（一日目）

鴻臚館跡（福岡市教育委員会常松幹雄氏案内）・福岡城・福岡市立博物館（同館池田祐司氏案内）・丸隈山古墳・徳永A遺跡（福岡市教育委員会森本幹彦氏案内）・若八幡古墳・九州大学（九州大学考古学研究室・埋蔵文化財調査室等宮本一夫・辻田淳一郎両先生他案内）（夜は九州大学考古学研究室スタッフ・学生と懇親会・博多市内泊）

（二日目）

板付遺跡・金隈遺跡・水城・大宰府政庁（大宰府市教育委員会高橋学氏案内）・観世音寺・太宰府天満宮・九州国立博物館（同館市元墨氏案内）・九州歴史資料館（同館小田和利氏案内）・小郡官衙遺跡・平塚川添遺跡（原鶴温泉泊）

（三日目）

うきは市立吉井歴史民俗資料館（うきは市教育委員会寺嶋克史氏案内）・日岡古墳・月岡古墳・屋形古墳群（珍敷塚古墳・原古墳）・田主丸大塚古墳・下馬場古墳・高良山神籠石（久留米市教育委員会丸林禎彦氏案内）・高良大社・岩戸山歴史資

料館（同館大塚恵治氏案内）・岩戸山古墳・童男山一号墳・石人山古墳・弘化谷古墳
「新入生歓迎見学会」二〇一一年四月二三日 木津川市

北谷横穴・平尾城山古墳・椿大塚山古墳・上狛天竺堂一号墳（木津川市中島正氏案内）・山城郷土資料館（同館森島康雄氏案内）
「夏季見学会」二〇一一年七月一〇日 桜井市

大神神社・茅原大墓古墳・ホケノ山古墳・箸墓古墳・桜井市埋蔵文化財センター・纏向石塚古墳・纏向遺跡・珠城山古墳群・桜井茶臼山古墳・艸墓古墳・文殊院西古墳・同東古墳・安部寺跡・吉備池廃寺

「平成二三年度花園大学考古学研究室大会」二〇一一年六月四日

「研究発表」
中島正「馬場南遺跡（神雄寺跡）における伽藍と法会」
川部浩司「壺形埴輪からみた初期古墳の葬送儀礼」

西光慎治「西飛鳥における後・終末期古墳の様相」

なお、大会中、第三回朝日二関西スクエア賞を受賞した研究室OB西光慎治氏に對して、花束の贈呈があった。

〈考古学研究室関連刊行物〉

・「花園大学考古学研究室だより」第五九号（二〇一一年五月一六日発行）、第六〇号（二〇一一年一月一〇日発行）
・朝霞市教育委員会「一夜塚古墳出土遺物調査報告書」二〇一一年三月三十一日、主として埴輪の整理と報告に関わる。

〈展示協力〉

福岡県若狭町歴史文化館企画展「今、よみがえる向山古墳の埴輪たち」(二〇一二年秋)〈その他〉

・花園大学考古学研究室定例研究会の実施（授業期間中の毎週火曜日一七時）

・科学研究費補助金基盤研究（C）「古墳時代における若狭地域の対外交渉」（平成二二～二五年度）に関わる調査

(1) 福岡県小浜市丸山城跡古墳発掘調査（二〇一一年八月二二日～九月九日）

(2) 向山一号墳出土ガラス玉の分析（奈良文化財研究所都城発掘調査部飛鳥・藤

原地区協力)

- (3) 福井県若狭町脇袋丸山塚古墳の踏査
(二〇一一年一〇月二七日)
(4) 福井県小浜市丸山城跡古墳・若狭町糠塚古墳の出土資料整理

・若狭町歴史文化館サポーターさんたちとの交流 (二〇一一年八月九日)

〈専門職関連への学生の異動〉

平成二三年三月で大学院修士課程を修了した宮村誠二は、四月より財団法人長野県文化振興事業団長野県埋蔵文化財センター調査研究員となった。

同じく、岡島俊也は財団法人枚方市文化財研究調査会常勤嘱託職員となった。

〈情報歴史学ゼミ 後藤真専任講師〉

三月四日・五日 ゼミ合宿 (広島城・大和ミュージアムほかを巡見)

四月一九日 情報歴史学ゼミ全体ガイダンスと懇親会

四月二九日 ゼミ旅行 (高取城ほかを巡見 日本史学科古代ゼミと合同)

六月二二日 ゼミ旅行 (久留倍遺跡・四日市地域の古民家ほかを巡見)

十一月九日 ゼミ旅行 (正倉院展・東大寺・新薬師寺を巡見)

情報歴史学研究会を月曜日午後開催
近江八幡市・大阪大学との共同プロジェクトにて安土城の3D復原CG作成を行う。

教員の研究活動

芳井敬郎教授

〈短報〉

「国際理解、宮廷人ヒントに」『京都新聞』

二〇一一年二月二七日

「集団の歴史 現代に示唆」『京都新聞』

二〇一一年二月四日

〈口頭発表・講演〉

「博物館の実態」京都博物館連絡協議会

二〇一一年三月一日

「これからの工芸産業の振興について」

京文化の本質と伝統工芸の将来的指針を探る」於京都商工会議所 二〇一一年三月

一五日

「葵祭」於サールナートホール 二〇一

一年三月一九日

「宮廷秘話―近世・近代後宮の状況の中

心として―」於サールナートホール 二〇一一年五月二一日

「いま民俗学とは―民俗文化の変容に直面して―」於奈良県立民俗博物館 二〇一一年五月二二日

「祇園祭―知られざるその本質」於京都生涯学習センター 二〇一一年七月二九日

「道とは―日本人の精神性について」於花園大学京都学講座 二〇一一年八月一日

「雅びの仁和寺・その魅力」於仁和寺 二〇一一年九月一〇日

「普通人の近代大阪小史―暮らしの諸相と本質を探る 大阪人の余暇空間」大阪薬業クラブ 二〇一一年一月二二日

「江馬 務の考えた風俗史学」於花園大学 京都民俗学会第三〇回年会 二〇一一年二月一八日

「正月行事」於京都市正行寺 和の学校 二〇一一年一月二二日

「子供と日本文化」於京都府立総合社会福祉会館京都府保育協会 二〇一二年一月

二五日

〈社会活動〉

日本風俗史学会評議員

大阪府泉大津市立織編館専門委員会座長

奈良県立民俗博物館運営協議会委員

全国大学博物館講座協議会西日本部会会

長

京都歴史回廊協議会副会長

明珍健二教授

〈論文〉

共著「下京・梅忠町の家屋敷景観の復元
および家督相続の実証的研究」〔花園大学
文学部研究紀要〕第四三号、二〇一一年）

〈口頭発表・講演〉

「大学博物館の使命と展示」京都市博物
館連盟公開講座 二〇一一年三月三〇日

「花園大学歴史博物館十年の展覧会回顧」

花園大学歴史博物館開館一〇年記念式典

二〇一一年三月三〇日

「京都の町形成と京町家のくらし」京都
学総論 大学コンソーシアム京都 二〇一

一年五月

「両墓制 一人に二つの墓ができる制度」
京都学総論 大学コンソーシアム京都 二

〇一一年七月

「京都の町形成と京町家のくらし」洛西

花園幼稚園生涯学習センター 二〇一一年

七月

「京都の文化遺産」夢ナビライブ イン

テックス大阪 二〇一一年七月

「橋にかかる歴史秘話」第一期京都市
講座 静岡サールナートホール 二〇一

年七月

「宗教と文化」花園会夏期講座 花園大
学 二〇一一年八月

「京都の町家と人々のくらし」日本学術

振興会「ひらめき・ときめきサイエンス」

二〇一一年九月

「博物館の使命とボランティア組織」京

都市博物館連盟主催ふれあいボランティア

養成講座 京都市こども未来館 二〇一

年一〇月

「京都の町形成と町家」「博物館活動と社
会教育」「最新光学機器と仏像の観察」教

員免許更新講習 二〇一一年一二月

〈社会活動〉

NHK朝の連続テレビ小説「カーネーシ

ヨン」時代考証 二〇一一年一〇月より継
続

平成二三年度京都市博物館ふれあいボラ
ンティア養成講座講師 二〇一一年一〇月
から

NPO法人 蕪村顕彰俳句大学講師 二

〇一〇年より継続

京都ノートルダム女子大学非常勤講師

「博物館実習」二〇一一年後期

「天游 蘭学の架け橋となった男」イラ
スト考証 くもん出版 二〇一一年一〇月

『YUKICHI 福沢諭吉の青春物

語』イラスト考証 くもん出版 二〇一

一年一二月

福島恒徳教授

〈論文〉

共著「下京・梅忠町の家屋敷景観の復元
および家督相続の実証的研究」〔花園大学
文学部研究紀要〕第四三号、二〇一一年）

〈講演〉

「京都禅宗寺院の歴史」於・SBS学園
浜松校・サールナートホール 二月一九日

「京都の絵画―知られざる絵師の秘話」

於・SBS学園浜松校・サールナートホール

六月四日

「前衛芸術の都・京都―中世の唐物と唐

絵―」於・SBS学園浜松校・サールナ

トホール 一〇月一五日

他

高橋克壽教授

〈著書〉

(1) 「西大久手古墳・志段味大塚の形象埴輪」

『埋蔵文化財調査報告書』六一 志段味

古墳群、名古屋市教育局、三七五

三七八頁、二〇一一年三月二日

(2) 「一夜塚古墳の埴輪と被葬者像」『一夜

塚古墳出土遺物調査報告書』朝霞市教育

委員会、八九〜九四頁、二〇一一年三月

三一日

(3) 「公開討論会 大日山三五号墳の埴輪

を考える」の記録』『大王の埴輪 紀氏

の埴輪』平成三三年度和歌山県立紀伊風

土記の丘 開館四〇周年記念特別展図録、

五九〜六五頁（共著）二〇一一年一〇月

八日

(4) 「形象埴輪と葬送祭祀」『古墳時代の考

古学』三 墳墓構造と葬送祭祀、二一六

〜二二六頁、二〇一一年一〇月一八日

(5) 「研究の流れ・戦後」『古墳時代の考古学』

一 古墳時代史の枠組み、二一〜三三頁、

二〇一一年二月二五日

(6) 「播磨の大型古墳と畿内政権」『大型古

墳からみた播磨』第一二回播磨考古学研

究集会実行委員会、四三〜五二頁、二〇

一二年二月五日

〈講演〉

(1) 「倭の五王の東日本政策」柏原市歴史資

料館平成三三年度市民歴史大学「倭の五

王の時代」、二〇一一年九月四日、柏原

市立歴史資料館研修室

(2) 「丹後の埴輪―網野銚子山古墳の埴輪を

中心に―」丹後建国1300年事業シン

ポジウム『丹後二天古墳と古代タニワー

網野銚子山古墳・神明山古墳の築造に迫

る』二〇一一年二月一日、アマテ

イ丹後

〈その他〉

・科学研究費補助金基盤研究（C）「古墳

時代における若狭地域の対外交渉」（平

成二二〜二五年度）による研究（小浜市

丸山城跡古墳発掘調査・若狭町向山一号

墳、糠塚古墳の出土資料整理、若狭町脇

袋丸山塚古墳の踏査）

・島根県教育庁文化財課客員研究員（テ

マ研究「前方後方墳と東西出雲の成立に

関する研究」）

・長岡京市教育委員会「国史跡惠解山古墳

保存・整備委員会専門部会」委員

・名古屋市教育局委員会「歴史の里」基本構

想検討委員

・日本文化財科学会評議員

・「古代文化」編集委員

・発掘調査のてびき―各種遺跡調査編

（仮）―、作成検討委員会作業部会員

高橋康夫教授

〈論文・その他〉

「補陀落渡海僧日秀上人と琉球―史書が

創った日秀伝説―」、『沖繩文化研究』三

七、一〜四〇頁、二〇一一年三月

「京都」——歴史と自然のあいだに——、

『年報都市史研究』一八号、一六八—一七四頁、二〇一一年三月

伊藤毅・高橋康夫「住宅史・都市史」(対論、

二〇一一年度建築史学会記念シンポジウム

『稲垣史学の地平』、『建築史学』五十七号、六五—七十二頁、二〇一一年九月

「京町家とまちづくり——祇園祭山鉦町の〈文化的景観〉をめぐる——」、日本民俗

建築学会公開シンポジウム資料集、日本民俗建築学会、二〇一一年一〇月

「都市・建築史学と文化的景観」、文化的景観研究会講演・報告資料集、奈良文化財研究所、二〇一一年一二月

〈講演〉

「京都「まちと町家の形成史」」、「町家塾」

第一回、葎屋町町家(三条通新町西入)、二〇一一年一月二三日

「聚楽第と唐獅子図屏風」、日本文化美術研究会、京都ライオンホテル、二〇一一年

二月二二日

「清風荘の建築と庭」、イギリス・ガーデン研究会、京都大学清風荘、二〇一一年三月

四日

「京都——トポスと「こころ」——」、日本機械学会関西支部総会特別講演、京都工芸繊維

大学松ヶ崎キャンパス三号館三階、二〇一一年三月一九日

「住宅史・都市史をめぐる——(伊藤毅との対論)、二〇一一年度建築史学会記念シン

ポジウム『稲垣史学の地平』、東京大学工学部一号館、二〇一一年四月二三日

「京都・祇園祭山鉦町の〈文化的景観〉」、二〇一一年度京町家再生研究会五月例会、

釜座町町家(ちよういえ、斧屋)、二〇一一年五月一四日

「清風荘の建築」、京都造園懇談会七月見学会、清風荘、二〇一一年七月九日

「上杉本洛中洛外図屏風について」、上杉本

洛中洛外図屏風研修会、京都市景観・まちづくりセンター ワークショップブルーム、

ひと・まち交流館京都、二〇一一年七月一日

「京の緑とまちづくり——『市中の山居』小

世界で創造された生活文化」、平成二十三年度「景観・まちづくり大学」における「京

のまちづくり史セミナー」、京都市景観・

まちづくりセンター(ひと・まち交流館京都)、二〇一一年七月三〇日

「京町家とまちづくり——祇園祭山鉦町の〈文化的景観〉をめぐる——」、日本民俗建築

学会シンポジウム基調講演、ひと・まち交流館京都、二〇一一年一〇月八日

「都市・京都の成立——まちの形成史と景観の変容——」、「京都景観エリアマネジメント

講座」、京都市景観・まちづくりセンター ワークショップブルーム、ひと・まち交流

館京都、二〇一一年一〇月一五日

「都市・建築史学と文化的景観」、第4回文化的景観研究会、奈良文化財研究所、二〇一一年二月一七日

〈海外調査〉

一月二日—一四日 ドイツ(ベルリン)・チェコ(プラハ)

〈社会活動〉
文部科学省文化審議会専門委員(文化財部

会第二専門調査会建造物委員会委員長)

鳥取県文化財保護審議会委員
福井県朝倉氏遺跡研究協議会委員

特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡保存管理計画策

定委員会委員（福井市教育委員会）

京都府文化財保護審議会委員

京都市文化財保護審議会委員

京都市美観風致審議会委員

京都市歴史まちづくり推進協議会座長

京都を彩る建物と庭園保存・活用制度アド

バイザー

「京都を彩る建物や庭園」審査会委員（委員長）

知恩院本堂及び集会堂他二棟保存修理事業

推進委員会委員（副会長）

国宝清水寺本堂ほか八棟修理事業修理専門

委員会委員（委員長）

仁和寺建造物保存調査委員

京都国立博物館将来構想検討委員会旧本館

耐震性能に関する小委員会委員

京都・岡崎の文化的景観調査検討委員会委

員（委員長）

日本学術振興会特別研究員等審査会専門委

員

（財）京都市埋蔵文化財研究所評議員

（財）建築研究協会評議員

後藤真専任講師

〈編著書〉

『歴史GISの地平』（勉誠出版、二〇一

二年三月）

〈研究報告など〉

「写経所文書研究会データベースの概要とモデル」（東京大学史料編纂所特定共同

研究「正倉院文書に関する史料学情報の情

報資源化連携」、二〇一一年一月二五日、

東京大学）

「日本古代史研究に近代デジタルライブ

ラリーを使う」（国立国会図書館関西館「デ

ータベースフォーラム」ネットつながる

NDL」、二〇一一年七月二三日）

〈その他活動など〉

「明治の京都へタイムトラベル」デジタル

地図と古写真を使った京都探検」（日

本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエ

ンス」KAKENHI」による事業（高

校生向け）、二〇一一年八月四日）

「古写真で見る、京都の世界遺産」（第十

期『京都学講座』、二〇一一年一月一五日、

「花園大学について話そう」出演（KB

S京都ラジオ「藤崎ぶ〜けつと」二〇一

一年二月二五日）

「明治の京都の風景を見る」写真でたど

る近代の京都」（第十一期『京都学講座』、

二〇一一年一月一五日、サールナートホー

ルほか）

「平安遷都以前の『京都』——奈良時代の

古文書に見る、知られざる歴史」（第十二

期『京都学講座』、二〇一一年二月一八日、

サールナートホールほか）

〈社会活動〉

情報処理学会 人文科学とコンピュータ

研究会 幹事

情報処理学会 代表会員

人文系データベース協議会 協議員

日本史研究会 陵墓問題選任委員

【Historical GISの地平】編集委員

人文科学とコンピュータ2011 実行

委員

東京大学史料編纂所 特定共同研究「正

倉院文書に関する史料学情報の情報資源化

連携」研究員

京都大学地域研究統合情報センター 共

同研究「地域情報学の展開」研究員

人間文化研究機構（国立歴史民俗博物館）

連携研究「正倉院文書の高度情報化

研究」研究員

日本文学科

スタッフの移動

新聞水緒教授が文学部長に就任された。

学科の活動

1 新入生学外研修

四月八日、観光バス二台で、三井寺見

学。その後ホテルで昼食会、オリエン

テーション。船で琵琶湖周遊。夕刻に

大学に帰着。

2 花園大学日本文学会公開講演会

六月二十五日（土）

「御伽草子と清水寺」新聞水緒教授

「泉鏡花と志賀直哉」弦巻克二奈良女

子大学名誉教授

3 『花園大学日本文学科通信』第四号（通

卷三三二号）

七月一日発行

4 『花園大学日本文学論究』第4号

十二月二十日刊行

・『竹取物語』絵の配列と多様性

―逸翁美術館本と諏訪市博物館本の

比較を通して― 曾根 誠一

・千手の誓ひぞたのもしき―お伽草子

と清水寺観音― 新聞 水緒

・谷崎潤一郎論―初期作品における女

性像の変遷 福田 博則

・受贈図書目録

丸山顕徳教授

1 編著

『キャリアアップ国語表現法』第十一

訂版（編著、嵯峨野書院、三月、全一

五六頁）

2 論文

①「昔話と日本人のアイデンティティ

―「ホトトギスと兄弟」猫檀家」子

育て幽霊―」（『花園大学人権論集』、

花園大学人権教育研究センター編、

三月、一七三頁―一八二頁）

②「沖繩の純愛・性愛・愛慾の神話」

（篠田知和基編『のろわれた愛』比

較神話学研究組織、三月、一一二頁

―一三五頁）

③「三輪山神話の展望」（篠田知和基

編『神話・象徴・図像Ⅰ』楽瑯書院、

十二月、一七三頁―一八二頁）

3 エッセイなど

①「沖繩のどこをみる」（花園大学人

権研究センター『人権教育研究セン

ター報』十八号、四月）

4 講演・研究発表・その他

①シンポジウム発表「沖繩冥界神話の愛

妻・鬼妻」（シンポジウム「のろわれ

た愛」比較神話学研究組織、名古屋市

政資料館、一月四―五日）

②シンポジウム発表「記紀の罪と罰の神

話」（シンポジウム「世界神話の罪と罰」

比較神話学研究組織、大阪大学吹田学

舎、九月四―五日）

③シンポジウム発表「芸能からみた上代

文学―方法的有効性」（上代文学会、

十一月十二日、日本女子大学）

④朝日カルチャー京都「火の神カグツチ

神話」(八月二十日)、「海幸山幸神話」

(十一月十九日)。朝日カルチャー声屋

「ヤシマの神々」(九月十二日)、「オオ

ゲツヒメの神話」(十二月二十六日)。

⑤沖繩国際大学文学部集中講義「記紀神

話と沖繩の神話伝説」(八月九日～十

三日、十六回)

5 学会・社会活動

古事記学会(理事)、説話・伝承学会(委

員)、日本昔話学会(委員)、奄美沖繩民

間文芸学会(委員)、比較神話学研究組

織(科研連携研究者)、環太平洋神話研

究会(幹事)、南都文化研究組織(顧問)、

NPO法人沖繩伝承話資料センター(理

事)、日本文化研究会A1(事務局長)、

宮古伝承文化研究センター(研究員)、

KBSラジオ放送(対談)、朝日カルチ

ャー京都、声屋(講師)。

曾根誠一教授

〈論文〉

『竹取物語』絵の配列と多様性

—逸翁美術館本と諏訪市博物館本の比較

を通して—『花園大学日本文学論究』

第4号、二〇一一年二月) 一～二六頁

新聞水緒教授

1 論文・その他

①『日本ミステリアス妖怪・妖奇・妖人

事典』「志賀寺上人」の項(勉誠出版

二〇一一年六月)

②「千手の誓ひぞたのもしき—お伽草子

と清水寺観音」(『花園大学日本文学論

究』第四号二七頁～四三頁 二〇一

一年十二月)

2 講演・その他

①仏教文学会五十年記念大会 五十年記

念鼎談「仏教文学会五十年のあれこれ」

司会(二〇一一年五月二十八日(土) 於

東洋大学)

②平成二十三年度 花園大学日本文学会

公開講演「御伽草子と清水寺」(二

〇一一年六月二十五日(土) 於花園大学)

③「国宝法然上人行状絵図フォーラム」

報告 二〇一一年七月二日(土)

総本山知恩院和順会館和順ホール(主

催浄土宗・後援京都新聞社・協力京都

国立博物館・総本山知恩院)

④フォーラム「国宝法然上人行状絵図の

魅力とその時代」報告(主催浄土宗・

後援朝日新聞社・協力東京国立博物館・

総本山知恩院・大本山増上寺) 二〇

一一年十一月十三日(土) 於大本山増

上寺三縁ホール)

⑤講演「下鴨神社と鴨長明」於下鴨神社

参集殿 二〇一一年九月五日(月)・

九日(金)(主催JTB旅行社・協力

下鴨神社)

3 その他

①国文学研究資料館公募共同研究「大福

光寺本「方丈記」を中心とした鴨長明

作品の文献学的研究」研究員

②元祖法然上人八百年大遠忌記念対談

「法然上人と『行状絵図』(浄土宗総本

山知恩院伊藤唯真観下との対談)(知

恩)二〇一一年十月号)

橋本行洋教授

1 論文

「現代語「特化」の展開」(言語変化の
分析と理論) おうふう) 三月

2 紹介文

「リレー連載」私が勧めるこの一冊第
二三回「日本語の語源」阪倉篤義著(「日
本語学」三〇一四) 三月

3 シンポジウム企画・司会

「近代語研究の方法と資料」パネリスト…
荒尾禎秀・櫻井豪人・荒川清秀/司会…
橋本行洋 (日本語学会二〇一一年度秋季
大会) 一〇月、高知大学

4 ブース発表

「言語の規範意識と使用実態」副詞…
然「の「迷信」をめぐって」新野直哉
(リーダー)・梅林博人・島田泰子と共同
発表(日本語学会二〇一一年度秋季大会)
一〇月、高知大学

日本文学科書道コース

真神仁宏 (魏堂) 教授

〈作品〉

・現代京都書作家展 一月 大丸京都店

「明暗雙々」

・真神魏堂個展 四月 高島屋京都店画廊

漢字・調和体一八点

・日本書芸院展 五月 大阪国際会議場

「遠峯」

・日本の書展 五月 国立新美術館(東京)

「維摩」

・読売書法展 八月 国立新美術館(東京)

「區大相詩」

・日展 十月 国立新美術館(東京)

「蘇東坡詩」

榊原壽弘 (壽皓) 教授

〈作品・その他〉

一月 現代京都書作家展 出品

大丸ミュージアム京都

七月 現創会書展 出品、審査会出席

京都市美術館

八月 創造書芸展審査会出席

イーグル姫路

十月 全国書展 審査会出席

奈良県教育委員会 佐保小学校

下野健児教授

〈講演〉

「書のかたち―碑学派と帖学派の書法―」
黒川古文化研究所、五月八日

創造表現学科

【学科動向】

二〇一〇年度で増田のぞみ講師が退職さ
れ、二〇一一年度より秦美香子講師が着任
された。また、松久ミユキ教授が特任教授
として、ひきつづき学生を指導されること
になった。

四月六日(水)

新入生オリエンテーションを行う。

新入生と教員とがMKボウルでボウリン
グをしたあとホテル・アパンシエル京都に
て食事。終了後大学に戻り共同研究室にお
いて機材などの説明をする。

四月一六日(土)

千賀ゆう子氏による語りの会を開催。学
生に太宰治の「御伽草子」を聞いてもらう。
琴の演奏は今西玲子氏。
五月二一日(土)

卒業生澤田達朗氏により、広告代理店の

仕事について学生向けのレクチャーを行う。

六月一七日(金)～二三日(木)

フィンランド研修を行う。

今井隆介准教授および秦美香子講師の引率により、総勢六名にてフィンランド共和国ラハティ市で開催された現代日本文化イベント、第三回「DESCUON」に参加する。

六月二十五日(土)

毎年開催しているミステリ講演会を開催。

ゲストは貴志祐介氏と大森望氏。題して「京都の長い午後SFトーク2011」。

七月二日(火)

『七つまでは神のうち』ティーチ・インを開催。

七月二十四日(日)

「花村萬月先生と語る夕べ」を開催。

七月二二日(日)

拈花館の小教室で話しあったあと、お好

み屋に移動してさらに学生の質問に答えて

いただく。

八月二日(火)

「夏目房之介教授のマンガ講座」を開催。

二月一八日(日)

福原正行教授による創造表現学科コンテンツ制作発表会を開催。

【教員業績】

浅子逸男教授

〈編者〉

『大衆と『キング』』(解説「大衆と『キング』」七六七～七八三ページ、解題七八四～七八九ページ) ゆまに書房、二〇一一年九月

今井隆介准教授

六月一七日(金)～二三日(木)

教員二名・学生四名にてフィンランド共和国ラハティ市で開催された現代日本文化

イベント「DESCUON」に参加

〈口頭発表〉

日本アニメーション学会第四回海外文献

研究会(@早稲田大学)にて講読発表(八月二九日(月)) (講読テキスト: Serga

Eisenstein, "Eisenstein on Disney" in

Richard Taylor(ed.), The Eisenstein

Collection, Seagull Books, 2006.)

野田光太郎専任講師

〈出演〉

1. 「RIOフェス二〇一一年 第五回岸田理生アバンギャルドフェスティバル『猫とカナリア・・・と?』」こまばアゴラ劇場(二〇一一年七月一・二・三日、千賀ゆう子企画)

2. 「東日本大震災・長野地震チャリティ・バレエコンサート」長野県松本文化会館大ホール(二〇一一年七月一五日、東日本大震災・長野地震チャリティ・バレエコンサート実行委員会)

〈演技構成・指導〉

1. 「2011 International Junior Gymnastics Competition 2011 国際ジュニア体操競技大会」アトラクション」横浜文化体育館(二〇一一年九月二四・二五日、社団法人全日本ジュニア体操クラブ連盟)

2. 「第五回京都体操祭」京都学園大学(二〇一一年一月一三日、京都体操協会) 〈論文〉

「男子新体操選手におけるスポーツ外傷・

障害の実態についての研究」〔花園大学
文学部研究紀要〕第四三号、五三〜六九
頁、二〇一一年三月）

〈その他〉

「RG 新体操情報誌 第二三号」(財団
法人日本体操協会、四二頁、二〇一一年
一月一〇日)

秦美香子専任講師

〈論文〉

1. 「少女」などの言葉に対する大学の意
識について」『京都精華大学紀要』三
八号、一三三〜一四六頁(二〇一一年
三月)

2. 「日本の少女マンガとフランスの意外
な関係」『共同セミナー「ヨーロッパ
と日本の言語・視覚文化―交錯するま
なざし―」報告書』神戸大学大学院国
際文化学研究所、九六〜九八頁(二〇
一一年三月)

〈口頭発表〉

1. 「日本の少女マンガとフランスの意外
な関係」(共同セミナー「ヨーロッパ

と日本の言語・視覚文化―交錯するま
なざし―」、グルノーブル第三大学、
二〇一一年三月八日)

2. 「フィンランドにおけるマンガ・アニ
メコンベンションの模様について」日

本マンガ学会関西交流部会、第六九回
例会、二〇一一年一月一九日)

〈その他〉

シンポジウム記録「共著」「公開シンポ
ジウム『やおい／BL研究の今を熱く語
る』」「人権問題研究」一一号、八三〜一
一三頁(二〇一一年三月)

福原正行教授

〈企画および発表〉

1. エコクリエーターズスクール開講記念
シンポジウム『エコロジーに於ける、
デザインの役割』(二〇一一年二月一
九日)

2. 創造表現学科・スターダストピクチャ
ーズ共催

映画監督三宅隆太氏 講演会とティー
チン(二〇一一年七月一二日)

3. 二〇一一年度創造表現学科コンテンツ
制作発表会

Souzon Creative Party「お楽しみはこ
れからだ!」(二〇一一年二月一八日)

松久ミユキ教授

〈企画および発表〉

1. 京都体操祭作品(二〇一一年一月二
三日、京都学園大学)

2. らくらく体操(二〇一一年四月)、長
岡京市主催)

〈論文〉

「男子新体操選手におけるスポーツ外傷・
障害の実態についての研究」〔花園大学
文学部研究紀要〕第四三号、五三〜六九
頁、二〇一一年三月)

教職課程

「教員の異動」

なし。

「教育実習」

本年度の実習生は、文学部国際禅学科三

名、史学科四名、日本文学科八名、文化遺産学科一名、社会福祉学部社会福祉学科四名、臨床心理学科十一名、科目等履修生一名、合計三十二名であった。教科別では、

中学校社会科十一名、高等学校地理歴史科二名、同公民科八名、同国語科二名、同芸術科(書道)七名、同福祉科一名、宗教科一名であった。

実習生所属ゼミ担当教員にもお願いをして、関西圏を中心に実習受け入れ校を訪問し、実習生の指導に当たった。

学内の反省会は、七月十三日(水)と二十日(水)の予定であったが、二十日は台風で休講となったため、二十七日に延期して実施した。

〔教員の研究活動〕

奥山研司教授

〈執筆〉(共著)

『中学校新社会科歴史の実践課題に応える授業デザイン』(二〇一一年十一月刊行 明治図書)

〈執筆〉(論文・単)

「歴史教育における時間認識について」高校地理歴史科のアイデンティティを探るための予備的考察」(『花園大学文学部研究紀要第四十三号二〇一二年三月』)

〈講演〉

「言語活動の充実をはかる社会科授業のあり方」新学習指導要領の実施をひかえて」(兵庫県中学校社会科教育研究大会記念講演・於南あわじ市立三原中学校体育館、二〇一二年十一月八日)

「新学習指導要領と歴史の方法について」(於大阪教育大学附属天王寺中高等学校教育研究大会社会科部会、二〇一一年十一月十二日)

桐田清秀教授

〈執筆〉(論文)

(単)「近代の肖像 鈴木大拙①③」(『中外日報』275256・8号、11011・1・18～25)

(単)「大谷大学時代の鈴木大拙」(『花園大学文学部研究紀要』四十三号、一・二四頁、二〇一一年三月十日)

(単)「異郷の孤独が深めた禅の思想」(『世界の大拙』萌芽の米国時代)(『北国文華』四十九号、pp. 64～74、二〇一一年九月一日)

〈翻刻・編集〉

(共)「D.T. Suzuki's English Diaries. (VII 1936 to 1938)」(『松ヶ岡文庫研究年報』二十五号、1～85頁、二〇一一年三月二十五日)